変革の年

2025







朝鮮民主主義人民共和国
外国文出版社
2026

変革の年
2025

朝鮮民主主義人民共和国
外国文出版社
2026

まえがき

ねばり強くて頑強な努力をもって国の全面的発展、全面的興隆を推し進めてきた朝鮮人民は2025年を大きな成果で飾った。

さまざまな挑戦と困難に直面した中でも経済の主要工業部門でねばり強い増産・節約運動を繰り広げて増大した生産計画を立派に遂行し、農業部門で前年に比べてより高い穀物収獲高を記録し、建設部門で多くの重要建設を完工することによって、一年間の経済発展目標と5カ年計画を完遂した。

主要経済部門の近代化と技術インフラの補強が積極的に進められた結果、次の段階の展望目標の達成に確信を持って進入できる可能性と保証がもたらされた。

特に重要な成果は、より拡大・進歩した地方発展政策対象を年中に着工し、完工することによって、人民の理想と福祉の実現で誇らしい結果をもたらし、国の同時的な発展ぶりを誇示したことである。

国家防衛力の全般的な構成部分を近代化するという朝鮮労働党の方針に従って達成された有意義な成果によって、世界的な地政学的及び技術的な変化の中でも国の安全と防衛保障、利益守護のために多くの問題が効果的に正しく解決され、正確な方向へと発展した。

朝鮮人民軍の複数の兵種の部隊が海外軍事作戦に参戦して成し遂げた赫々たる戦果は、百戦必勝の軍隊、国際正義の真の守護者としての朝鮮人民軍と国家の名声を世界に誇示した。

朝鮮労働党創立80周年慶祝行事は、わが国家、わが人民の持っている絶対の尊厳と力を世界にはっきり認識させ、自分の知恵と努力、自分の

方式で社会主義社会を建設しようとする全人民の意志を百倍にした。

　スポーツ分野においても好成績を上げて国の地位の宣揚に寄与した。

　実に2025年は、全面的発展の力強い前進の勢いで5カ年計画遂行の最終段階を確信を持って突破し、新たな段階へ力強く移行しうる力を蓄積した歴史的な転換の年であった。

目　　次

偉大なわが国家の富強発展と
わが人民の福祉のために一層力強く闘っていこう

飛躍の進路

朝鮮労働党は、人民大衆第一主義の崇高な理念と老熟した指導をもって国家建設の各方面で壮大な変遷と活気に溢れた躍進を達成し、一年一年を目覚しい成功や勝利へと導いている。

2025年にも朝鮮労働党は、明確な闘争方略と戦略的な決断、しっかりした実行力をもって、厳しい試練の中でもこの年を拡大・成長した成果が充満した変革の年、飛躍の年に転換させた。

社会主義建設の新たな隆盛期の到来と、首都と地方が共に変わり栄える全面的発展、全面的興隆の重大な変化を目の前の現実として実感させた2025年の道程は、朝鮮労働党第8回大会の闘争綱領の輝かしい実行と、今後達成される新しい勝利を裏打ちする鼓舞的な礎石となった。



朝鮮労働党中央委員会第8期第11回総会拡大会議

2024年12月23日から27日にかけて、2025年の党・国家活動の発展方向と方略を策定する朝鮮労働党中央委員会第8期第11回総会拡大会議が行われた。

総会は、5カ年計画を成功裏に完遂し、次の段階の発展道程へ進入するための準備工程を実質的に推し進めることを2025年度活動の総体的方向として打ち出し、その実現のための政策的課題を明示した。

そして、人民経済全般の成長・発展にさらなる拍車をかけることに注力しながら、金属、化学、電力、機械、石炭、鉄道運輸をはじめとする基幹工業部門が達成すべき目標を明示した。

また、2025年度にも膨大な建設を行わなければならず、それを通じて理想の実現へと今一度飛躍するという問題を強調した。

それは、2025年に和盛地区第4段階住宅建設を推し進めて平壌市5万世帯住宅建設を締めくくるとともに、検徳地区住宅建設を終え、農村住宅建設を引き続き推し進め、特に地方変革の大業を加速化するための産業及び公共施設建設に力を入れながら、新浦市浅海養殖事業所建設から得た経験に基づいて今一度テストケースとして他の地域に浅海養殖事業所を立派に建設することであった。

総会は、森林造成と国土管理、生態環境保護活動を改善し、国家的に災害防止活動に関する統一的な指揮システムと秩序を厳格に立て、救助用装備と救援物資備蓄など災害の危険に対処するための事前準備を手ぬかりなく整え、大水警報の科学性と正確さ、迅速さを保障して災害を最小化することについて指摘した。

また、国の経済構造と具体的な実情に適しながらも経済全般を統一的に管理できる体系と方法、計画化と価格調整を改善することをはじめ切実な方法論的問題の解決に力を入れて、予定された経済成長目標を成功裏に達成することを特別に強調した。

総会は、人民生活で実際の変化をもたらすことは第8回党大会の提示した基本課題だとし、人民生活と関連して策定し推し進めてきた主要政策的課題の実行を一層ねばり強く推進して2025年にはより明確な成果をもたらすことを強調した。

そして、2025年に農業部門に提起される課題は、党の提示した穀物生産目標を達成し、新しい展望計画期間に農業生産量を画期的に高められる土台を構築することだと指摘した。

農業部門の物質的・技術的土台を強化し、科学農業を重視し、新時代の農村革命綱領の実行を担って立つ人材陣、社会主義農村を変革させる担当者を系統的に多く育てることをはじめ国の農業生産を安定的かつ持続的な発展軌道に確固と乗せるための対策に言及した。

総会は、軽工業部門で品質の向上を第一とし、基礎食品と必須消費財の品質改善に力を入れ、特に子どもたちと学生のための社会主義的施策を責任を持って実行するという問題を強調し、水産部門の物質的基盤を強化するための実践的な方途を明示した。

総会は、新年度の活動で科学と文化分野の役割を強めることを重要な課題として提起した。

それを具体的に見れば、科学界が総決起して第8回党大会の決定貫徹のための最後の突撃戦の勝利を確実に裏付け、新たな発展段階へ引き継がせる立派な結実をもたらさなければならない。

保健医療部門では、治療・予防を現実に不断に接近させ、勤労者に対する医療サービスの水準を高め、いかなる世界的な保健医療危機にも対処できる防疫土台を強固にしなければならない。

文学・芸術部門と出版・報道部門、スポーツ部門は立派な文学・芸術作品の創造、強力な言論攻勢、優勝のスポーツ成果で時代を震撼させ、全国を奮い立たせ、革命的気勢を高揚させなければならない。

総会は、朝鮮民主主義人民共和国の将来的な国益と安全保障のために強力に実施していく最強硬対米対応戦略を明らかにした。

また、対外活動部門が国威宣揚、国益守護の原則に基づいて主権的権利守護闘争を果敢に展開し、わが国家の尊厳と国益を尊重する親善的で友好的な国々との関係発展を積極的に図っていくための課題を明示した。

総会は、人民軍を思想の強兵、技術の強兵にしっかり準備させる問題を特別に強調した。

人民軍は政治・思想強兵化を戦略的課題として堅持し、わが軍を思想の力と威力で百戦百勝する強兵に、全ての将兵を精神力の最強者、真の愛国軍人にたくましく育て、特に透徹した対敵意識と絶対不変の主敵観、徹底した決戦意志で完全武装させるための思想活動を攻勢的に展開しなければならない。

また、現代戦の要求と様相に即して、変化する敵の戦争企図と遂行方式に対処して朝鮮式の戦法研究を深化させ、作戦指揮の情報化、近代化の実現に引き続き拍車をかけ、科学的な訓練形式と方法を不断に研究・適用して人民軍の戦争遂行能力を絶えず向上させなければならない。

民間防衛部門の戦争に対処する準備を手ぬかりなく整えるための活動も引き続き強力に推し進めなければならない。

総会は、日増しに増大する米国と追随勢力の反共和国軍事挑発策動に対処して国防科学技術の絶え間ない進歩と防衛産業の急速な発展をもって自衛的な戦争抑止力の強化を一層確実に保証するという戦略的・戦術的方針とその実現のための課題を提示した。

総会で提示された課題は、わが党の聖なる闘争目標の完璧な実行を科学的に裏付け、大きな拡大への絶え間ない昇華を可能にする実践綱領であった。

総会は、第3の議題として「わが党の新しい地方発展政策と今後の課題について」を討議した。

朝鮮労働党が重大な政治的問題、最大の宿願事業と見なし、最優先的な革命課題として強力に進めている「地方発展20×10政策」は、全国の人民に10年の間に豊かで文明な新しい生活を提供し、全ての地域の発展水準を飛躍的に引き上げることを目的とした画期的な決断であり、かつてなく膨大な創造闘争である。

国の全地域を均衡的かつ同時的に発展させるのは、朝鮮式社会主義建設の重要な戦略的課題であると同時に、党と政府の基本政治理念である人民大衆第一主義を一層しっかり具現し、発揚するための差し迫った政治的課題でもあった。

党と政府が全面的に責任を持ち、毎年20の市・郡に近代的な地方工業

工場を次々に建てることによって、10年を期限にして全国人民の基本的な物質・文化生活水準を一段と高める「地方発展20×10政策」は、2024年1月に行われた党中央委員会第8期第19回政治局拡大会議で樹立され、その実行のための具体的な措置が講じられた。

地方発展政策を実現する事業の先頭に立った軍人建設者の努力によって、その初の結実である新しい工場が建設され、機械、建材工業部門をはじめ資材と設備、技術保障を担当した各部門の労働者と科学者、技術者によって、生産課題の遂行と研究・開発で貴重な成果がもたらされた。

これとともに、朝鮮東海岸の新浦市に浅海養殖業の新しいモデルとなる浅海養殖事業所が建てられて、海を控えている市・郡が自力で暮らせる経験を創造し、地方経済の特色のある発展と成長を成し遂げるための活動も各面から推進された。

しかし、朝鮮労働党は各市・郡に幾つかの地方工業工場を建設するだけでは地方に残っている長年にわたる立ち後れを完全に払拭し、持続的な発展の軌道に乗せるのに不十分であるということに留意し、全国の市・郡に保健医療施設と複合型文化中心、穀物管理施設を追加的に建設することにした。



総会は、地方工業工場と共に追加的に先進的な保健医療施設と科学教育及び生活文化施設、穀物管理施設まで並行して建設することを新しい地方発展政策に正式に含める問題を提起した。

総会は、第4の議題「国の教育土台を強化するための一連の措置を講じることについて」を討議した。

総会では、創造と変革の振幅が大きくなるほど、課された革命課題が壮大であるほど教育を常に第一義として優先権を付与し、教育に対する全社会的な関心を一層高揚させ、国家の支援と投資を引き続き増やすという問題が強調された。

総会は、決定書「第8回党大会の提示した5カ年計画の2025年度の課題を貫徹することについて」と「新しい地方発展戦略の実行を強力に推し進めて国家の全面的興隆を早めることについて」「国の教育土台を強化するための一連の措置を講じることについて」を全会一致で採択した。



朝鮮労働党中央委員会第8期第12回総会拡大会議

2025年6月21日から23日にかけて、朝鮮労働党中央委員会第8期第12回総会拡大会議が行われた。

総会は、党中央委員会第8期第11回総会の手配した2025年の党・国家主要政策実行状況を中間総括し、下半期の活動の中心と闘争方向を再確定し、経済建設の短期的、中長期的な計画を拡大・深化させる過程で提起される問題を討議・決定するために招集された。

2025年を第8回党大会の提示した雄大な革命綱領を完遂する画期的な年、新たな発展段階への上昇局面を開拓する驚異的な転換の年にするという党中央のアピールに応えて上半期に政治、経済、文化、科学、教育、国防など社会主義建設の各方面で大きな成果が収められた。

党中央委員会は、上半期の党・国家主要政策を貫徹する闘争で達成された刮目に値する結果と、社会主義建設全般を確実に支配する力強い前進気勢を極めて肯定的に評価した。

総会は、国家発展の幅と深度、掲げた目標の膨大さにおいて未曽有の壮大な闘争が展開されている時代的な特徴と変化する客観的形勢に相応して成果と経験を積極的に奨励し、教訓と解決策を不断に導出する原則に基づいて一連の党・国家政策課題の戦略的な調整と適時的な施行方案を検討・承認した。

党と革命発展の道程で今一つの重大な分水嶺となる朝鮮労働党第9回大会を招集するという決定が全会一致で可決され、党大会を成功裏に開催するための実務的な措置が講じられた。

総会は、国家経済の自立性と発展潜在力を一層強化し、全面的興隆・成長を持続的かつ安定的に裏付ける上で先行者の役割を果たす人民経済の主要工業部門の活性化と近代化を画期的に進めるための問題を討議・決定した。

また、祖国解放80周年と党創立80周年を意義深く慶祝する活動と第9回党大会を勝利者の大会、栄光の大会として迎えるための活動が重なった最も責任ある時期により果敢に、より着実に、より気を引き締めて奮闘して2025年に設定された目標を徹底的に遂行することによって、祖国の歴史に特記すべき画期的な成果をもたらすことが総会の基本精神であると強調した。

朝鮮労働党中央委員会第8期第25回政治局会議は、協議会で建設的かつ動員的な意見で修正・補足された決定書草案を審議した。最終的に確定した決定書が本総会に報告され、党中央委員会委員の全会一致で採択された。

第8期党中央委員会は、第12回総会拡大会議を通じて朝鮮式社会主義の全面的興隆のための実践的な措置を討議・決定した。



共和国政府の重要政策方向

9月20日と21日の両日間にわたって行われた朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第14期第13回会議2日会議では、国家元首の重要演説があった。

敬愛する金正恩（キムジョンウン）総書記は演説で、共和国政府の重要政策方向を明らかにした。

演説は、朝鮮労働党と共和国政府が2025年に国家の全面的発展を目指して科学的に計算し、より動員的に計画した膨大かつ重要な事業が強力にバランスよく推進されて有意義な成果が収められたと指摘した。

そして、国家の全面的興隆を目指す闘争が類例のない高揚期に達した時点で党と人民は、政府のより正確かつ積極的な役割を望んでいるとし、共和国政府の今後の課題を提示した。

それはまず、地方発展政策は前年の成果と経験、地方を多角的かつ持続的な発展の軌道に乗せる上で提起される展望的な要求に基づいてさらに拡大・実行されなければならないということであり、国家的に人材資源を効率的に動員・利用し、科学技術の持続的な発展を保証できる整然とした活動システムと秩序を確立し、全ての部門と単位で科学技術陣をしっかり固めて現実で提起される技術上の問題を成功裏に解決していかなければならないということである。

教育部門では、第2次全般的12年制義務教育綱領の執行を契機に児童・生徒に世界先進水準の教育を与えられるように万般の準備を整え、大学で新たに編成された学科別教育綱領を実質的に執行して現実が要求する人材をより多く育成し、歴史的な保健医療革命時代の要求に即して各級

治療・予防機関を一新し、医療サービスの水準を根本的に向上させ、製薬工業をはじめ保健医療部門の物質的・技術的土台を強化するための活動を強力に推し進めなければならない。

また、社会主義法律制度を不断に改善し、国家・社会生活で法の機能と役割を向上させ、既存の強力な戦争抑止力に基づいて国家の主権と安全を守り抜くための活動で責任感を発揮し、あらゆる軍事的威嚇を退けうるより強大な力を絶えず備蓄しなければならない。

演説は、朝鮮半島と周辺の情勢推移を厳正に分析し、共和国政府の原則的な対米・対韓立場を明らかにした。

今日、急速に崩壊する覇権を維持しようとする米国とその陣営の理性を失った野望と節度のない力の濫用によって世界的な不安と総体的危機が増幅している中、朝鮮民主主義人民共和国を巡る安全構図は依然として深刻な挑戦に直面している。

特に、朝鮮半島を巡った客観的安保状況は文字通り最悪の記録を重ねて更新している。

米国とその追随諸国は、朝鮮民主主義人民共和国の安全上の憂慮を無視して情勢の緊張を一層激化させる挑発的な行為を常習的に働いている。

米国の覇権志向的な「インド太平洋戦略」とその実現のためのシナリオに従って米韓、米日軍事同盟と米日韓3角軍事共助体制がより攻撃的で侵略的な実体に変わっており、それによって直接的な被害を受けるのはほかならぬ朝鮮民主主義人民共和国の安全環境である。

朝鮮に反対するさまざまな二国間及び多国間戦争演習が同時多発的に間断なく続き、それにより多くの核要素が含まれている。

さらに重大なのは、米韓の前政権が朝鮮に対する核兵器使用を前提として作成した「核作戦指針」なるものが現政権にそのまま継承され、それに伴う核戦争計画がより実際的かつ具体的な実行段階に入ったことである。

米韓は、前政権から譲り受けた「核作戦指針」に従って朝鮮を核兵器で攻撃する手順と方式に熟達するための「アイアン・メイス」という露骨な核戦争試演を再び強行し、同時に米日韓3カ国が参加する多領域合同軍事演習も行った。

これと時を同じくして、史上初めて日本本土に米軍の地上配備型中距離ミサイルシステムが電撃的に配備されることによって、朝鮮を含む地域核列強の領土が米軍の恒常的な直接照準圏内に入る初めての安保危険変数も追加された。

時間が経つにつれて緊張状態は一層厳しくなり、導火線に火が点じられているが、戦争防止、安全指数はかえって以前より高まった。

それは、外部からのあらゆる安保上の挑戦に対処し圧倒する朝鮮の核武力の抑止機能が十分かつ完璧に稼動しているからであった。

言い換えれば、米国とその同盟国の日を追って増大する軍事的力の使用に正比例する朝鮮の物理的な抑止力の増強によって、敵対国の戦争挑発意志が徹底的に抑止され、地域における力の均衡が保たれているからである。

客観的情勢がいかに厳しくても、それを統制・管理し、調整できる主観的要因、主体的勢力が成長すれば、戦争は十分抑止される。

演説は、朝鮮は絶対に核を放棄しないであろうし、制裁解除に執着して敵対国と何かを交換するような交渉などはあり得ないであろうという原則的な立場を明らかにした。

また、強力な政治強国らしく、目的とした通り経済を振興させ、さらに見逃すことのできない戦略的目標として軍事力強化に邁進し、世界的な軍事強国としての地位を不断に更新していくであろう、朝鮮労働党と政府は、朝鮮民主主義人民共和国憲法と核兵器保有を永久化した核武力政策に関する基本法を変わることなく、寸分の狂いもなくしっかり守っていくであろうし、朝鮮の最高の利益を徹底的に保証していくであろう、朝鮮に対する外部の核の威嚇が終息しない限り、核を圧制の生存手段としている帝国主義勢力が存在する限り、朝鮮は現在と未来の国家の安全と人民の幸福を守り抜くことのできる軍事力強化の道程で絶対に立ち止まらず、絶え間ない力の強勢を継続的に志向していくであろうということを明示した。

そして、韓国との関係に関する朝鮮の立場を明らかにした。

それは、朝鮮には韓国と対座することがなく、どんなことも共にしないし、一切相手にしないだろうということである。

演説は、朝鮮民主主義人民共和国政府は今後も国家の自主権と安全、

根本的利益をしっかり守り、最も責任ある姿勢で朝鮮半島と地域の平和と安全を強力に促すであろうと強調した。

演説は、朝鮮労働党と共和国政府、朝鮮人民にとって絶対の生命線は社会主義路線を変わることなく忠実に堅持し、社会主義の旗印をより高く掲げていくことだとし、朝鮮労働党と政府の政治基調にはいささかの変色も、脱線もないであろうし、朝鮮は必ず人民の志向であり、理想である社会主義をしっかりと守り前進させることで、国家の偉大な興隆と人民の尽きない福祉を一層増大させていくであろうと指摘した。



国家の尊厳と威力を誇示

2025年に意義深いさまざまな政治行事が盛大に行われた。

祖国解放戦争勝利72周年、祖国解放80周年、朝鮮労働党創立80周年を迎えてさまざまな行事が行われて、人民に勝利者の誇り、自主的尊厳を取り戻して創業の道に主人として堂々と出て徹底した自主意識と不屈の闘争をもって祖国の地位と名声を新しい境地に至らしめた尊厳と栄光の歓喜、朝鮮労働党に対する限りない信頼を抱かせた。

また、海外軍事作戦で不滅の勲功を立てた朝鮮人民軍軍人たちへの表彰授与式が行われて人民軍の戦闘力を誇示し、人民に自国の軍隊に対する愛と信頼の感情を与えた。

7・27の歓喜、継承の意志

1953年7月にこの地に戦勝の花火が打ち上げられた時から長い歳月が流れた。

共和国の初の守護者が無比の勇猛と大きな犠牲を払って創造した偉大な勝利の伝統を代を継いで輝かせてきた大きな誇りと自負を抱き、朝鮮人民は2025年の戦勝節を迎えた。

7・27は、創建されて2年もならない幼弱な共和国が、世界の「最強」を誇るアメリカ帝国主義を打ち破ったことで朝鮮人民の偉大な祝日となっている。

共和国の尊厳と栄誉、自主的発展の環境を守り抜き、アメリカ帝国主義の世界制覇戦略の実行を阻止し、新たな世界大戦を防止してこの世界の平和と人類の文明を救ったところに、何をもってしても消すことも覆うこともできない7・27の絶対的な価値と歴史的な重みがある。

偉大な領袖金日成（キムイルソン）主席の卓抜した軍事思想と独創的な戦法、絶妙な戦略・戦術と人民への限りない愛と信頼は、祖国解放戦争勝利の決定的な要因であった。


전우여 그날의 우리 노래 함께 부르자
72돐







戦勝世代が祖国解放戦争で成し遂げた勝利も偉大なものであるが、その勝利を守ってきた業績も偉大なものである。

今日に至る70余年間は、3年間の戦争に劣らぬ試練の日と月の連続であった。

熾烈さと苛酷さにおいて類例のない銃声なき戦争で朝鮮人民は、不屈の抗戦意志をもって帝国主義者の戦争策動をそのつど粉砕し、共和国の尊厳と自主権をしっかり守り抜いた。

7月26日、金正恩総書記が戦勝72周年に際して祖国解放戦争勝利記念館を訪れたのは、共和国と人民が今後の反帝反米対決でも勝利者になるであろうということを宣言した契機となった。

金正恩総書記は、参戦老兵たちと共に祖国解放戦争参戦烈士墓を訪れて人民軍烈士の永生を祈り、献花台「英雄たちの魂」に花を供えて崇高な敬意を表した。この日、金正恩総書記は偉大な英雄時代を創造した戦勝世代の不屈の祖国防衛精神と百折不撓の革命信念は全人民と全軍の将兵がしっかり継承し、永遠に輝かせていくべき貴い思想的・精神的富であると述べた。



27日夕、首都平壌で行われた戦勝72周年慶祝祖国解放戦争時期の象徴縦隊の記念行進儀式は、革命の開拓世代、戦勝をもたらした英雄世代の精神を継承していく朝鮮人民の闘争気勢を見せた。

この日に行われた戦勝世代との交歓会と芸術公演は、戦勝節と共に反帝・自主、富国強兵の聖なる道程を百年の大計の大勝で受け継いでいこうとする全人民の意志を昇華させた。

祖国解放80周年を慶祝

1945年8月15日は、朝鮮人民にとって生命とも言える自主的尊厳を取り戻した運命転換の始発点であり、偉大な勝利の日である。

5000年の歴史に最大の恥辱を残し、人民の恨みと悲しみが極度に達した亡国史の流れを押しとどめたのは、祖国の解放であった。

朝鮮で祖国解放の出来事を植民地から独立国家への転機を迎えた慶事としてだけでなく、代を継いで厳かに振り返るべき壮挙として慶祝するのは、これに朝鮮人民の高貴な魂と犠牲が秘められているからである。

アジアの列強として君臨した日本軍国主義を相手に朝鮮人民の優れた息子・娘が展開した武装闘争は、祖国と子孫の運命を担い、厳しい苦難と骨身にしみる犠牲に耐え抜いてきた抗戦であり、自主的立場に一貫して成し遂げた抗日革命業績は、朝鮮人民の開拓した自力独立路線の明確な証しであった。

決して歴史の流れが作り出した出来事ではなく、全人民的な抗日勢力が犠牲を辞さず成就した自主精神の勝利だというところに、朝鮮の解放偉業の革命的性格があり、政治的意義がある。

8月15日と共に朝鮮人民は、奪われた主権と領土と資源、歴史と文化を全て取り戻し、初めて自由と運命開拓のあらゆる可能性を持つようになり、民主主義的発展と幸福のための偉大な創業の道を主人として堂々と歩むようになった。

8・15は、自由と独立への朝鮮人民の宿望が実現した勝利の日であると同時に、受難の歴史を永久に終わらせるための闘争が始まった日でもあった。

8・15を分岐点にして始まった朝鮮共産主義者と人民の新しい歴史的使命は、最初から既存の観念と公式を超越する未曽有の開拓と、反革命に命綱をかけた敵対国との衆寡敵せずの苦戦を伴う実に困難な課題であった。

しかし、それらは朝鮮人民の強い自尊心と強靭さの前では無気力であった。

あれほど厳しい各年代に政治、経済、国防を自分の方式で建設してきた富国強兵の歴史には、国家の建設と活動の不変の原則、本領となってきた自主路線の生命力とともに、生命は捨てようとも自尊は捨てない朝鮮人民特有の強靭さがはっきりと刻まれている。

抗日革命烈士への敬意が解放節を慶祝する全国にみなぎっている中、金正恩総書記は祖国解放80周年に際して8月14日、大城山革命烈士陵を訪れて花輪を献じ、祖国の解放と自主権の守護、人民の自由と子孫万代の幸福のための聖業に貴い生命をささげた革命烈士を追慕して黙祷した。

金正恩総書記は革命烈士陵を見て回りながら、強靭な精神と熱血の愛国心を抱いて抗日大戦に勇躍奮い立って血潮をもって独立を成し遂げた革命の第一世代の不滅の功績と貴い生を敬虔な気持ちで振り返り、呉振宇、呉白竜、金一、崔春国、姜健、金策、安吉、柳京守、崔賢、林春秋の胸像に花を供えた。

朝鮮革命の初の獲得物である祖国解放は、金日成主席の自主独立思想と20星霜の偉大な指導実践の勝利であり、金日成主席がいるがゆえに朝鮮は必ず解放されるという鉄石の信念を抱いた朝鮮革命の開拓世代の英雄的な闘争の勝利であった。

抗日戦争史が神聖なのは、一歩一歩が血みどろの戦いであったその道程に革命的同志愛の世界と、千万べん死すとも敵を討とうという百折不撓の闘争の足跡がはっきりと刻まれているからである。永遠につないでいくべき精神と伝統を創造した闘士こそは、朝鮮の全ての継承世代が末永く記憶し、見習うべき真の革命家、真の愛国者の亀鑑である。

8月14日、祖国解放80周年慶祝大会が平壌で行われた。

大会では、朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議常任委員会の崔竜海委員長が慶祝の辞を述べた。

彼は、朝鮮革命史の貴い初の勝利であり、5000年にわたる歴史の画期的な出来事である祖国解放80周年を迎えているとし、亡国の民の羞恥と不幸を強要されていた人民を抗日救国へ奮い立たせて日本帝国主義の植民地支配に終止符を打ち、国権回復の世紀的大業を達成した金日成主席に不滅の栄光と最高の敬意を表した。

彼は、祖国の独立を目指す朝鮮人民の40余年間にわたる闘争は、正しい指導を受けられず、力のない国と人民は亡国の屈辱を避けられず、偉大な領袖の周りに固く団結した人民自らの強力な主体的力によってのみ失った尊厳を取り戻し、守っていくことができるという真理を教えていると述べた。

また、幾多の困難の中でも立ち上がることのできる精神的遺産をもたらし、百戦百勝への進路を明示した革命烈士がわれわれを限りなく鼓



舞し、絶え間ない前進へ後押ししているとし、みんなが偉大な愛国の理念、わが国家第一主義に基づいてしっかり団結して祖国のとわの富強と隆盛のために力強く闘っていこうと強調した。

ついで、朝鮮解放80周年を祝うロシア連邦国家会議のビャチェスラフ・ウォロジン議長の発言があった。

金正恩総書記が祖国解放80周年に際して演説を行った。

大会は『インターナショナル』の奏楽で終わった。

祖国解放80周年慶祝大会は、金正恩総書記の指導に従って朝鮮の聖なる歴史を誇らしい勝利と奇跡の年代に輝かせていく人民の信念と意志を誇示した契機となった。

歓喜と感激をさらに大きくしながら祖国解放80周年慶祝公演が8月14日、凱旋門広場で行われた。

慶祝公演の序幕を特色あるように飾りながら空挺兵の集団降下が行われた。

高度4500メートルの上空から降下した空挺兵たちが操縦パラシュートを広げて、高難度の降下技巧を見事に遂行しながら夜空を美しく飾った。



空挺兵がはためかせる大きな共和国旗が近づくと、聖なる国旗を仰ぐ参加者の敬意が割れんばかりの拍手喝采と歓呼の声で噴出した。

公演舞台では、全人民的な領袖への頌歌と革命歌謡、愛国主義テーマの名曲をはじめとする多彩なレパートリーが披露された。

厳かな追憶を呼び起こす舞台に、朝鮮革命の初のページに刻まれた抗日烈士の英雄的群像を思い起こす革命歌謡と抗日戦の歌謡が響き渡った。

友好の使節のために特別に準備したロシア歌謡メドレーは公演舞台を異彩を放つものにした。

公演が終わり、花火が打ち上げられて夜空を美しく飾った。

8月15日、金正恩総書記は祖国解放80周年に際して解放塔を訪れた。

ロシア連邦国歌と朝鮮民主主義人民共和国国歌が奏楽され、献花曲が響く中、金正恩総書記名義の花輪が献じられた。

花輪のリボンには「ソ連軍烈士の功績をわれわれは忘れない」という文が書かれていた。

金正恩総書記は、朝鮮の解放のための聖戦に参戦して勇敢に戦ったソ連軍烈士に崇高な敬意を表し、参加者と共に解放塔を見て回った。

朝鮮人民の聖なる祖国解放史には、共同の敵を撃滅する抗日革命戦争でソ連軍将兵が発揮した無比の英雄主義と不滅の偉勲が刻まれており、厳しい戦火の中で結ばれた朝ロ両国の軍隊と人民の間の戦闘的友誼と血縁の絆は国際正義と連帯の真の手本である。

朝ロ両国の人民は、朝鮮の自主独立が達成された8月15日を共通の慶事、共通の祝日として慶祝した。

8月15日、平壌体育館では歴史的な祖国解放80周年に際して訪朝したロシア芸術団の慶祝公演が行われた。

金正恩総書記がロシアの友人たちと共に公演を観覧した。

金正恩総書記がロシア連邦国家会議議長と共に観覧席に姿を現すと、全ての参加者は熱狂的な拍手で歓迎した。

公演にはロシアの貫禄ある芸能人と国防省所属戦略ロケット軍の「赤い星」協奏団、空挺軍協奏団が出演した。

公演舞台には、ロシアの軍隊と人民の無比の英雄主義と頑強さ、崇高な愛国主義精神と楽天的な思想・感情がみなぎる偉大な祖国戦争テーマ

の歌謡メドレーとロシア連邦武力の軍歌をはじめとする多彩な演目が上がった。

出演者は、長い伝統文化と風習、悠久の歴史を民族的情緒の濃厚なロシア名曲にこめて舞台に乗せた。



ロシアの人気歌手シャーマンが歌った『私のロシア』『立ち上がらん』など愛国主義テーマの歌謡は、豊かな芸術的技量と気迫の溢れる形象によって観客の絶賛を博した。

金正恩総書記は、朝鮮の解放節の喜びを増大させ、日増しに開花する朝ロ親善に特色のある貢献をしたロシア芸能人の平壌訪問公演に謝意を表した。

祖国解放80周年に際して行われたロシア芸能人の平壌訪問公演は、朝ロ両国人民間の絆をさらに厚くする契機となった。

この他にも、祖国解放80周年に際して青年学生の夜会及び花火打ち上げ、青年学生の弁論会とデモ行進をはじめとするさまざまな行事が行われた。これらは抗日の戦勝史と共に末永く輝く烈士の革命精神をしっかり継承し、この地に富強・繁栄の社会主義強国を打ち建てる人民の信念と気概をはっきりと示した。

朝鮮労働党創立80周年を慶祝

2025年10月10日は、朝鮮労働党が創立されて80年に当たる日である。

朝鮮労働党が長い間、数え切れない挑戦と逆境の中でも朝鮮人民を社会主義偉業の遂行へと立派に導くことができたのはその不変の継承性にある。

解放なった祖国で党建設の第一歩を踏み出した当時、われわれの党創立世代が選択した社会主義は、朝鮮の実情に合う朝鮮式社会主義であり、その建設方式もあくまでも自国人民を信じ、自国人民の力に依拠する自活自決であった。

朝鮮の社会主義革命と建設の歴史の全過程でその科学性と生命力を誇示したチュチェの社会主義思想と理論は、社会主義と人民を一つに結合させる特有の威力を実証し、朝鮮労働党の政権党史を人民と共に前進し勝利する歴史に方向付けた。

朝鮮労働党が社会主義運動史上最長の政権党史を記録した根本的秘訣は、人民大衆中心の社会主義思想の不滅の生命力にあり、その徹底かつ完璧な継承にある。

これまでの80年の歳月、朝鮮労働党が社会主義偉業を勝利の道へと導くことのできた今一つの重要な要因は、人民を自分の生命の根源とし、人民のために滅私奉仕する独創的な政権党建設を革命と建設に徹底的に先行させたところにある。

朝鮮革命と社会主義建設の歴史には、いかにして党と人民、社会主義が一つの運命に結ばれ、党が百戦百勝の導き手として尊厳と名声を轟かせ、いかにして平凡で素朴な人民が強靭な性格と気質を持つ偉大な人民になったのかに対する解答が刻まれている。

人民のために闘う党はそれ自体が政治的に、組織・思想的に絶えず強化・発展し、人民的な指導気風と作風を培養するときにのみ、人民と一つの生命体を成すことができ、人民の尽きない英知と力を組織化し、最大限に発揚させて社会主義偉業を最終的勝利へと導くことができる。

人民大衆中心の革命思想を指導思想、指導理念とし、最も強力な思想的純潔体、組織的全一体、行動の統一体を成し、常に人民大衆の中に

入って活動しながら人民と一つになった政治的参謀部に強化・発展してきたのは、朝鮮労働党建設の基本特徴である。

人民に尽くす歴史、人民の力に依拠する歴史、ここに朝鮮労働党の全ての勝利と栄光の秘訣がある。

朝鮮労働党が80年の長きにわたって一度たりとも路線上の錯誤や誤謬もなかったのは、まさに人民の意思と要求を集大成したからであり、一瞬たりとも挫折や停滞もなしに上昇の一路をねばり強く進み続けたのも人民の知恵と力を原動力としたからである。

人民の意志をもって、人民の力に頼って歴史の前進を導いてきたがゆえに、朝鮮労働党が決行した全ての革命闘争と建設事業は、人民自身のことになって成功裏に完遂されたのである。

人民の念願と意志、力を結集して前人未踏の道を歩み、人民の中で、人民と共に強国念願を実現してきた朝鮮労働党の80年の政権党史は、一つの真理を時代と歴史にはっきり刻み込んでいる。

人民の上に君臨する党ではなく、人民の中に存在する党、人民と志向や抱負を共にし、人民と知恵や力を共にし、人民と生死苦楽を共にする党は絶対に崩壊せず、永久に生気と活力を失わないものである。

朝鮮労働党が80年の歴史を総括しながら限りない誇りを持って自負するのは、運命を共にする忠実な武装力を有していることである。

朝鮮人民軍は、自分の理念の真理性と自国人民の尊厳を代を継いでしっかり守り、高く押し立てようとする朝鮮労働党の強烈な熱望と不屈の信念の貴い結実であり、輝かしい具現である。

朝鮮労働党は、祖国と人民の運命と将来に全面的に責任を負うべき聖なる義務からして、国家より先に軍隊を創建し、党創立の理念と精神を植え付けて軍の性格と使命を規制し、党建設偉業の開拓世代を根幹にして正規的革命武力を建設した。

こうして、朝鮮労働党の指導歴史といつも共にして来た長きにわたる建軍歴史が始まり、強大な武装力にしっかり支えられたわれわれの偉業の闘争歴史が始まった。

創建当初から最悪の侵略的脅威を牽制すべき重圧から抜け出したことのないわが軍が、復興建設と社会主義建設の最も重要な時期ごとになんぴとも代行できない偉勲の足跡を刻んできた事実は、わが軍の本性と特

有のイメージを際立たせている。

社会主義朝鮮の歴史を目撃し、朝鮮の尊厳と栄誉を象徴する貴重な獲得物と記念碑的建造物には、誰よりもわが軍の高潔な血と汗、大事な犠牲が秘められていることをわが人民は忘れたことがなく、代を継いで感謝を表している。

貴い夢と青春の全部を祖国と人民のためにことごとくささげている頼もしい将兵たち、職級の差はあっても、絶対忠誠の精神だけは一様なこの鋼鉄の隊伍がいささかも揺るぎない支柱になって朝鮮労働党を支えているがゆえに、朝鮮労働党は永遠に微動だにせず、その前途は洋々たるものである。

わが人民は朝鮮労働党創立80周年を意義深く慶祝した。

10月8日、金正恩総書記は党創立80周年に際して党創立事績館を訪れた。

この日、総書記は党創立の当初に高く掲げた朝鮮労働党の崇高な政治理念を揺るぎなく継承し、朝鮮労働党が人民大衆の中に深く根を下ろした尊厳ある社会主義政権党としての威容を轟かせる指針を明示した記念演説を行った。

10月9日、朝鮮労働党創立80周年慶祝大会が平壌のメーデー・スタジアムで行われた。

チュチェ思想を指導指針として社会主義建設の全道程を奇跡と繁栄の記念碑的年代記に輝かせてきた朝鮮労働党の80年の歴史を誇らしく総括し、われわれの偉業の正当性と勝利の必然性、明るい未来への確信を百倍にした金正恩総書記の演説は場内を震撼させた。

歴史に勝利と栄光の80年の歳月を刻んできた朝鮮労働党にささげる人民の心からの頌歌が祖国の山河に響き渡る10月9日夕方、メーデー・スタジアムでは朝鮮労働党創立80周年慶祝大マスゲーム・芸術公演『朝鮮労働党万歳』が盛大に行われた。

党創立80周年シンボルマークがきらめき、烽火が力強く燃え上がる中、大マスゲーム・芸術公演の序幕が始まり、朝鮮労働党の歴史が大叙事詩的スペクタクルで繰り広げられた。

出演者たちは、人民を自分の生命の根源とし、人民大衆の底知れない精神力を発揮させて社会主義偉業を絶え間ない成功と生々発展へと導いてきた朝鮮労働党の不滅の業績を、革命の各年代に高らかに響き渡った

闘争と前進の歌謡に合わせて迫力のある体操と優雅な踊りのリズムで格調高くたたえた。

偉大な勝利と変革が起きる金正恩時代の賛歌が響き渡る中、公演の雰囲気は一層高まった。

金正恩総書記の指導に従って聖なる党旗を百戦百勝の旗印として高く翻し、社会主義祖国を輝かせていこうとする全国人民の強烈な志向と熱意を力強く示した公演は、美しい花火が打ち上げられる中にフィナーレ『われらの国旗』で終わった。

組織性と規律性、一致性において高度に洗練された大マスゲームと美しくて優雅な舞踊、声楽と器楽、サーカスと特殊技巧が、千変万化する照明及びバックスタンドと立体的に調和して、荘重でありながらもうっとりさせる芸術の世界を現出した公演は観客の絶賛を受けた。

10月10日、朝鮮労働党創立80周年慶祝閲兵式が金日成広場で盛大に挙行され、金正恩総書記が演説を行った。



金正恩総書記が演説を終えると、革命の先頭に立って無比の戦闘精神を余すところなく発揮しようとする革命武力の信念と鉄の意志が熱狂的な歓呼となって沸き上がった。

閲兵式では、抗日の呉仲洽第7連隊象徴縦隊、祖国解放戦争の各近衛部隊象徴縦隊の後を継いで親衛部隊縦隊、軍集団縦隊、海軍縦隊と空軍縦隊、特殊作戦軍縦隊、戦略軍縦隊、山岳戦部隊縦隊、上陸突撃大隊縦隊、海外作戦部隊縦隊が威風堂々と幹部壇の前を行進した。

また、専門兵・勤務兵縦隊と各級の軍事教育縦隊、社会安全軍縦隊、革命学院縦隊と国防科学院縦隊が歩武堂々と行進し、労農赤衛軍縦隊と少年近衛隊縦隊が力強い歩武で徒歩縦隊の終わりを飾った。

ついで、力と力の対決が国家と人民の生死存亡を決する厳しい世界であらゆる困難を乗り越え、国防力強化を瞬間の停滞もなしに推し進めて急速な飛躍をもたらした朝鮮労働党の自衛国防建設業績の結実である機甲化縦隊が荘厳な閲兵進軍を開始した。




조선로동당만세!
1945-2025
경
축


80
돐
조선민주주의
인민공화국만세!


692
경축

新型の主力戦車「天馬―20」型縦隊、155ミリ自走平曲射砲縦隊、600ミリロケット砲縦隊、長距離戦略巡航ミサイル縦隊、無人機発射車縦隊、地対空・地対地ミサイル縦隊、極超音速滑空ミサイル・極超音速中長距離戦略ミサイル縦隊、大陸間弾道ミサイル「火星砲―20」型縦隊が観衆の熱狂的な歓呼を受けた。

閲兵式が終わると、「万歳!」の歓呼が天地を揺るがし、素晴らしい花火が打ち上げられて10月の夜空を美しく飾った。

朝鮮労働党創立80周年慶祝閲兵式は、朝鮮労働党があるがゆえに朝鮮の不滅の尊厳と地位があり、朝鮮人民の英雄的な生と未来があり、わが軍隊の名声と百戦百勝があるということを示した大政治・軍事祝典として、この世の果てまで一意忠誠で党の偉業に尽くそうとする軍民の不動の意志を全世界に示した歴史的な出来事として歴史に記録された。

同日、朝鮮労働党創立80周年慶祝国家宴会がモンラン館で行われた。

金正恩総書記が国家指導幹部、各国の党及び政府首班と人士、国際民主団体のメンバー、外国の賓客と海外同胞祝賀団、各代表団団長と共に国家祝賀宴に出席した。

宴会では朝鮮労働党中央委員会組織担当書記が祝杯の辞を述べた。

全ての参加者は、朝鮮人民と世界人民の平安と福祉のために乾杯した。

10月11日、朝鮮労働党創立80周年慶祝大衆パレード及びたいまつ夜会が金日成広場で行われた。

朝鮮労働党創立80周年慶祝大衆パレード及びたいまつ夜会は、党と人民大衆が渾然一体を成した朝鮮特有の一心団結の真の姿と洋々たる前途、金正恩総書記の指導に従って人民の理想社会を建設していく社会主義朝鮮の気概を力強く示した。

10月12日、金正恩総書記は朝鮮労働党の革命業績を大叙事詩的スペクタクルで現出した閲兵式と大マスゲーム・芸術公演、大衆パレード及びたいまつ夜会を成功裏に行い、朝鮮労働党創立80周年を盛大に慶祝することに貢献した行事の参加者と保障関係者を祝い、彼らと共に大マスゲーム・芸術公演『朝鮮労働党万歳』を観覧した。

朝鮮労働党創立80周年を盛大に慶祝した栄光をもって錦繍山太陽宮殿を訪れた金正恩総書記は、偉大な金日成主席と金正日（キムジョンイル）国防委員長に朝鮮が獲得した偉大な栄光をささげた。

祖国の名誉を守って

2025年4月27日、朝鮮労働党中央軍事委員会は『労働新聞』と朝鮮中央通信に次のような内容の書面立場文を送った。

……

ロシア連邦に対するウクライナ当局の冒険的な武力侵攻を撃退するためのクルスク地域解放作戦が勝利のうちに終結した。

朝鮮民主主義人民共和国国家元首の命令によってクルスク地域解放作戦に参戦したわが武力の各区分隊は、高い戦闘精神と軍事的気質をあまねく示し、集団的英雄主義と無比の勇敢さ、犠牲的精神を発揮してウクライナのネオナチ勢力を撃滅し、ロシア連邦の領土解放に重大な貢献をした。

このような立派な軍人たちを持っているのはわが国家の誇りであり、わが人民のこの上ない自負である。

クルスク地域解放作戦の勝利的終結は不正義に対する正義の勝利であると同時に、朝ロ両国間の強固な戦闘的友誼と両国人民間の同盟関係、兄弟関係の最も高い戦略的水準を誇示した歴史の新しいページである。

朝ロ両国の軍隊が肩を組み、同じ塹壕で血を流して戦いながら勝ち取ったこの高貴な勝利によって、ウクライナ軍によるほぼ9カ月間にわたるクルスク地域占領が終息し、ロシアの特殊軍事作戦を挫折させようとしていた西側勢力とウクライナ当局の冒険的な政治的・軍事的企図は破綻した。

朝鮮労働党中央軍事委員会は、クルスク地域解放作戦に参戦してわが軍の高貴な名誉を死守し、朝ロ関係発展史に金文字で記される不滅の偉勲を立てた特殊作戦グループの指揮官と戦闘区分隊の全ての将校、下士官、兵士に熱烈な祝賀を送る。

ロシアに戦略的敗北を与えようとする帝国主義列強の先鋒隊、突撃隊になったウクライナ当局は、2024年8月、劣勢に追い込まれた戦況を逆転させようとする野望の下に、西側製の先端兵器と戦闘技術機材で装備した数万の最精鋭兵力をもって不意にロシア本土に猛攻を加えてクルスク州の1200余平方キロに及ぶ地域を占領し、数多くの住民地を廃虚にし、

一般の住民を無残に虐殺した。
兄弟の国ロシアの主権と安全を乱暴に侵奪した敵対勢力の軍事的妄動は、帝国主義強権と専横に抗して国際正義を実現し、世界平和を守護するための朝ロ共同偉業遂行に対する脅威、両国の軍隊や人民の間に結ばれた戦闘的友誼と団結に対する重大な挑戦である。
敬愛する金正恩総書記は、当時の戦況が朝鮮民主主義人民共和国とロシア連邦の間に締結された包括的戦略パートナーシップに関する条約の第4条の発動に相当するという分析と判断に基づいて、わが武力の参戦を決定してロシア側に通報し、合意に従って共和国武力の戦闘区分隊にロシア武力と協力してウクライナのネオナチ占領者を撃滅・掃討し、クルスク地域を解放するという朝鮮労働党中央軍事委員会命令を下達した。
金正恩総書記は参戦を決心する時、わが武力の参戦が、朝ロ両国間の伝統的な友好団結を一層磐石のごとく打ち固め、両国の発展と繁栄を保証し、朝鮮民主主義人民共和国の名誉を守るための聖なる使命になると定義付けた。
ロシア連邦境内で行われた共和国武力の軍事活動は、国連憲章をはじめとする国際法と朝ロ間の包括的戦略パートナーシップに関する条約の諸条項と精神に全面的に合致し、その履行の最も忠実な行動的表現の手本となる事例、立派な亀鑑となる。
国家元首の命令を受けた共和国武力の各区分隊は、ロシアの領土を自分の祖国の領土と見なし、強い守護意志と決死の精神をもって犠牲を同伴した実際的戦闘行動によって、朝ロ両国間の強固な同盟関係を証明し、伝説的な武勇伝を記録した。
クルスク解放に際して金正恩総書記は次の内容を特別に強調した。
「正義のために戦った軍人たちは皆が英雄であり、祖国の名誉の代表者である。
朝鮮民主主義人民共和国の誇らしい息子たちの英雄主義をたたえて、わが国の首都には早いうちに戦闘偉勲碑が建立されるであろうし、犠牲になった軍人たちの墓碑には、祖国と人民の心がこもった永生祈願の花が供えられるであろう。
強者の偉大な名誉と勝利者の栄光を轟かせた軍人たちの戦闘精神と英雄主義は尊敬と名誉の高い壇上で末永く輝くであろう」
朝鮮民主主義人民共和国国家元首は、偉大な勝利を獲得したロシア軍と人民に熱い戦闘的な挨拶を送ると述べた。
そして、朝鮮民主主義人民共和国政府はロシア連邦のような強力な国家と同盟関係を結んでいることを栄光とし、わが武力区分隊の参戦が朝ロ両国間の戦闘的な絆を一層強化し、ロシアの特殊軍事作戦遂行に寄与したことをうれしく思うと述べた。
また、朝鮮労働党中央軍事委員会は戦闘の砲火をくぐり抜けながら血潮をもって検証された両国間の不敗の戦闘的友誼は、今後、朝ロ友好・協力関係の全ての方面での拡大・発展に大いに寄与するものと確信し、朝鮮労働党中央委員会と朝鮮民主主義人民共和国政府の委任により、これからも変わらずロシアの軍隊と人民の聖業を全面的に支持し、朝ロ国家間条約の精神に基づいたいかなる行動にも依然として忠実であろうことを確言すると述べた。
……
ロシア連邦のプーチン大統領は、朝鮮民主主義人民共和国武力戦闘区分隊がロシア連邦のクルスク地域解放作戦に参加したことに関連して4月28日、次のような声明を発表した。
「2025年4月26日、ロシア連邦武力は戦闘行動を展開してクルスク州を侵攻したウクライナ軍を撃滅するための作戦を完了した。
これでロシア連邦領土の一部を占領しようとしたウクライナ当局の犯罪的な挑発行為は終わりを告げた。
わが領土を侵攻したキエフ当局のネオナチ部隊の掃滅に朝鮮人民軍区分隊が積極的に参加した。
これは国際法に全面的に合致し、2024年6月19日付のロシア連邦と朝鮮民主主義人民共和国の間の包括的戦略パートナーシップに関する条約の条項と精神、特に双方のある一方が武力侵攻を受ける場合、ただちに軍事援助を提供すると明記された条約の第4条によるものである。
朝鮮の友人たちは連帯と正義、真の同志愛から出発して行動した。
われわれはこれを高く評価し、朝鮮民主主義人民共和国の金正恩国務委員長と全ての指導部、人民に心からの謝意を表する。
われわれはロシア戦闘員と肩を組み、わが祖国を自分の祖国のように

守り抜いた朝鮮軍人たちの英雄主義とすぐれた戦闘能力、自己犠牲の精神を高く評価する。

彼らは不滅の栄光を刻み、自分の義務を誇らしく、勇敢に遂行した。

ロシア人民は、朝鮮の特殊部隊戦闘員たちの偉勲を絶対に忘れないであろう。

われわれはロシアのために、われわれの共同の自由のために生命をささげた朝鮮の英雄たちをロシアの戦友と等しく永遠に追憶するであろう。

戦場で強固になった両国間の友好・善隣及び協力の関係が今後も全ての面で成功裏に力強く発展するものと確信する」

ついで、ロシア連邦武力総参謀長、外務省スポークスマン、軍事専門家などが、わが共和国武力の各戦闘区分隊がロシアの領土に侵入したウクライナ軍を壊滅させる上で大きな寄与をしたと高く評価した。

ロシア連邦武力総参謀長は4月26日、プーチン大統領にウクライナ当局の冒険的な武力侵攻を撃退するためのクルスク地域解放作戦が勝利のうちに終結したと報告しながら、朝鮮民主主義人民共和国の軍人たちがクルスク州の国境地域解放作戦に参加したことについて特別に言及したい、両国間の包括的戦略パートナーシップに関する条約に従って彼らはロシア領土に侵入したウクライナ軍集団を壊滅させることに大きな援助を与えた、朝鮮人民軍の将兵はロシア軍人たちと肩を組んで戦闘任務を遂行した、彼らは、ウクライナの侵攻を撃退する過程で高い専門家としての実力を発揮し、戦闘ごとに強靭さと勇敢さ、英雄主義を発揮したと述べた。

ロシア外務省スポークスマンは、ロシアは朝鮮民主主義人民共和国の友人たちを絶対に忘れないだろう、朝鮮民主主義人民共和国の軍人たちは包括的戦略パートナーシップに関する条約第4条に準じてクルスク州解放作戦に参加した、朝鮮の友人たちが見せた連帯はわれわれの両国関係が高い同盟者の水準にあるということを証明している、われわれは今後もわれわれの関係が強化・発展するものと確信する、ロシア人民と朝鮮人民の戦闘的友誼の栄えある歴史に新たなページが記された、朝鮮人民軍の戦闘員たちはクルスク州でロシアの将兵と肩を組んで同じ塹壕で戦い、血を流した、朝鮮人民軍戦闘員たちはロシアの国土を占領者から解

放することに大いに寄与したと述べた。

5月11日、ロシア連邦のプーチン大統領はクレムリンで行われた記者会見で「朝鮮民主主義人民共和国の軍人たちはロシアの戦闘員たちと共にキエフ当局の部隊からクルスク州を解放するための作戦で課された任務を立派に、そして誠実に遂行した。彼らが勇敢さと英雄主義を発揮したことについて強調したい。もう一度強調したいことは、彼らが最高の戦闘能力と戦闘準備水準を示したということである」と述べた。

大統領はまた、自分が直に朝鮮人民軍指揮官に謝意を表し、クルスク州付近で戦った朝鮮民主主義人民共和国の特殊部隊兵士たちと指揮官に最も温かい感謝の言葉を伝えたことをうれしく思っていると述べた。

8月20日、金正恩総書記は党中央委員会本部庁舎で、朝鮮民主主義人民共和国国家表彰授与式に参加するために帰国した朝鮮人民軍海外作戦部隊の主要指揮官に会った。

席上で、指揮官から海外作戦地域でわが武力の各戦闘部隊の軍事活動状況について具体的に報告を受けた金正恩総書記は、ロシア連邦クルスク州解放作戦に参戦したわれわれの各部隊を勝利へと指揮した彼らの労苦を高く評価した。

そして、祖国の信頼に最も忠実な伝説的軍功をもって応えたクルスク解放作戦部隊の全ての指揮官と戦闘員に熱烈な戦闘的激励を伝えた。

総書記は意義深いこの席上で、わが軍の英雄主義を褒めたたえ、次のように述べた。

「わが軍は英雄の軍隊である。それは、わが軍が英雄的な人民が生み育てた息子たちであるからだ。わが軍は自分の特質を遺憾なく発揮した」

朝鮮人民軍海外作戦部隊の指揮官、戦闘員に対する国家表彰授与式が朝鮮労働党中央委員会本部庁舎で行われた。

数千里の道を駆け付けて党中央委員会の庭に入る参戦勇士たちを、党中央委員会の幹部たちが熱烈に歓迎した。

朝鮮労働党中央委員会の各書記をはじめとする責任幹部たちが祖国の立派な息子たちに花の首輪をかけ、花束を与えながら祝った。

金正恩総書記は、海外作戦地域で共和国武力の戦闘区分隊を勝利へと巧みに導いた軍事指揮官たちと特出した偉勲を立てた軍人たちに朝鮮民主主義人民共和国英雄称号を授与した。

そして、戦闘で犠牲になった烈士たちの肖像の側に朝鮮民主主義人民共和国英雄メダルを付け、追慕の壁に花を供えて黙祷した。

総書記は、烈士たちの遺族に会い、彼らと喪失の痛みを分かち合いながら彼らを慰めた。

これは、血みどろの戦いでなければ成し得ない偉大な不滅の功績を立てた栄えある勝利者に、祖国と人民が与える貴い表彰であった。

ついで、朝鮮人民軍海外作戦部隊の指揮官、戦闘員のための祝賀公演と宴会が行われた。

8月29日、金正恩総書記はモンラン館で海外軍事作戦で特出した勲功を立てた参戦烈士の遺族たちに会って温かく慰めた。

総書記は、国旗で包まれた烈士の肖像写真を遺族たちに手渡し、深甚なる哀悼の意を表した。

10月23日、海外軍事作戦戦闘偉勲記念館の着工式が挙行された。

この記念館が建設されると、平壌には過去の戦勝と共に現代の戦勝を



証明するもう一つの記念館が生まれるようになり、これは1950年代の戦勝世代の守護精神と不屈の英雄主義がある一時代に止まるのでなく、70余年の長きにわたってしっかり受け継がれ、さらに高い水準に培養されて、その偉大な年代、その英雄的な世代の敬意を受けていることを実証した。

参戦烈士たちが安置される場所は、平壌を象徴する和盛地区に位置している。

また、この和盛地区には参戦烈士の遺族が住むセッピョル通りが建設されることになった。

12月12日、海外作戦地域で戦闘命令を遂行して帰国する第528工兵連隊の歓迎儀式が平壌の4・25文化会館広場で盛大に行われた。

海外工兵戦闘部隊の指揮官が共和国武力最高司令官に、戦闘命令を完遂したと丁重に報告した。

金正恩総書記は、工兵部隊の帰国を祝って演説を行った。

総書記は、母なる祖国は皆さんが発揮した勇敢さと赫々たる戦闘偉勲を高く評価し、末永く輝かせるために連隊に自由独立勲章第1級を、戦闘任務遂行過程に犠牲になった9人の戦闘員に共和国英雄称号と国旗勲章第1級、戦士栄誉勲章第1級を授与することを決定したと宣言した。

総書記は不滅の偉勲によって輝く連隊旗に勲章を付け、連隊の軍人たちと記念写真を撮った。

ついで、4・25文化会館の中央ホールに立てられている追慕の壁に足を運び、祖国の名誉と尊厳守護のための聖戦に一つしかない生命を惜しみ





なくささげた烈士たちの肖像の側に朝鮮民主主義人民共和国英雄メダルと国旗勲章、戦士栄誉勲章をつけ、追慕の壁に白花を供えて黙祷した。

そして、烈士たちの遺族に会って喪失の痛みを分かち合い、彼らを慰めた。

工兵連隊の戦闘員の帰国を祝う公演と歓迎宴が行われた。

人民経済計画を成功裏に遂行

歴史的な転換の年である2025年は、前例のない創造と変革の速度でその名を祖国の歴史に金文字で刻みつけた飛躍と前進の年であった。

活気に満ちた全面的発展の勢いで5カ年計画遂行の最終段階を確信を持って突破し、新たな段階へと力強く移行すべき2025年に、全国各地で人民に喜ばれる実際の成果が次々ともたらされる驚異的な現実が繰り広げられた。

自立経済の威力を誇示

屈指の鉄鉱石生産拠点である茂山鉱山連合企業所では、100万立方大発破をはじめさまざまな規模の発破を成功させる準備に力を入れる一方、増産運動をねばり強く展開して前年に比べて剥土処理と鉄精鉱の生産を増やした。

北倉火力発電連合企業所の電力生産者たちは、技術規定と標準操作法の要求通りに電力系統を運営して生産を正常化した。

平壌火力発電所、東平壌火力発電所、清川江火力発電所では、ボイラーの燃焼率を向上させ、蒸気の生産量を増やすための適時的な対策を講じながらタービンの出力を高めた。

水力発電部門でも科学的な用水管理方法を活用し、発電効率を高めることに力を入れて多くの電力を生産した。

特に、江原道では水力発電所建設を締めくくる意義深い竣工式が行われた。

伊川、文川、洗浦、平康、高城の軍民発電所についで完工なった淮陽軍民発電所は、江原道で地域の経済発展と人民の物質・文化生活の向上のために必ず建設すべき重点課題とし、総力を傾注してきた6つの水力発電所の中で最後の建設対象であった。

11月20日、淮陽軍民発電所の竣工式が盛大に行われた。





竣工式に出席した金正恩総書記は、挑戦をはねのけて変革の歴史を生み出した強靭な精神、決心さえすれば必ずやり遂げる気質と気概は、江原道を壮大な地方変革の先頭へと一層力強く後押しするであろうとの演説をし、テープカットを行った。

淮陽軍民発電所の竣工式は、自力更生の威力をもって社会主義の全面的発展の広い地平を力強く切り開くという朝鮮労働党の思想と政策の正当性と生命力をはっきり実証し、自分の力を信じて自分の手で未来を開拓していくことに百年の大計の興隆・繁栄があるという自信を百倍にさせた意義深い契機となった。

石炭部門に対する全社会的な支援熱意が高まる中、北倉地区青年炭鉱連合企業所では、連続穿孔、連続発破で掘進成果を絶えず拡大し、運搬能力を高めて生産実績を上げた。

国の石炭生産で大きな役割を果たしている順川地区青年炭鉱連合企業所では、運搬線路と坑内電車、炭車の整備・補修を着実に行って火力炭の生産量を増やした。

機械工業部門の幹部と労働者は、特注設備生産に拍車をかけて成果を収めた。

竜城機械連合企業所、大安重機連合企業所では、価値のある創意考案を取り入れて機械設備の技術改造を本格的に推し進め、製品加工の精度を設計通りに保障しながら課された課題を立派に完遂した。

平壌326電線総合工場の幹部と労働者は、工程運営を科学化する革新的な対策を講じ、設備の性能を絶えず改善して各種電線類の生産計画を完遂した。





採掘工業部門の幹部と労働者は、果敢な勇気と奮発力を発揮して鉱物及び非鉄金属の生産を力強く推し進めた。

検徳鉱業連合企業所金谷鉱山4・5坑のリ・ソンイル除隊軍人青年掘進小隊では、12月10日に3年分の掘進計画を完遂する偉勲を立てた。

林業省では丸太生産計画を120%以上に遂行した。

鉄道運輸部門の幹部と労働者は、超過輸送運動を力強く繰り広げて鉄道省全体の貨物運送計画を超過遂行した。

屈指の建材生産拠点である祥原セメント連合企業所で大高揚進軍の革新が起きた。

祥原セメント連合企業所の労働者たちは、一年中奮闘して、数十万トンのセメント増産課題を遂行し、年間人民経済計画を期限前に完遂する大きな偉勲を立てた。

彼らが決起したセメント増産目標は2024年の増産量の10倍に達し、既存の観念と方式では到底完遂できない量であった。

物質的条件のみを重視して可能性を打診する前に、思想の力、政治活動の威力をもって生産者大衆の底知れない精神力と創造力を余すところ

なく発揮させる宣伝・鼓舞活動が力強く繰り広げられる中、全ての生産工程と単位では年初から一大革新が起こった。

毎日のクリンカー生産量は前年同期に比べて105%、セメント生産量は114%以上に伸び、祥原石灰石鉱山では1月4日の一日間だけでも連続3回の発破を行って20万トンの石灰石鉱量を確保した。

指標別生産量が以前の全ての記録をはるかに上回り、1月計画が28日まで期限前に完了され、毎月、四半期別の計画が狂いなく遂行された。

連合企業所では、4重現場巡回点検システムを確立し、機械設備のフル稼動を保障する一方、技術者や技能工の責任感と役割を絶えず高め、整備・補強を力強く推し進めた。

セメント生産の基本工程を受け持っている焼成職場では、主設備の長時間の稼動に重点を置いて点検回数を以前の2回ではなく、5回、6回に増やして設備を安定的に稼動させた。

月別、日別、交代別の計画を具体的に立て、必要な資材や部品などを



前もって調達しながら設備の補修を集中的に行った結果、機械の稼動時間が著しく伸びた。

以前には一週間以上もかかっていた焼成炉の重要部品の交替をたった一日のうちに終えたのは、既存観念を打破し、絶えず飛躍しようとする祥原セメント連合企業所の労働者たちの非常な創造精神、強い実践力を再び実証した。

5月計画を期限前に遂行し、新たに追加された生産課題も成功裏に完遂することによって、連合企業所の歴史に最高の生産実績を記録した。

設備の性能更新をはじめ整備・補強が着実に推進され、技術装備水準、生産性の向上においても著しい進展がもたらされた。

2025年に連合企業所全体で数件の国家科学技術成果と国家発明を含めて120余件の技術革新案、創意考案が研究・導入されて生産に実質的に寄与した。

連合企業所では、燃料問題の解決に優先的な関心を払い、セメントの用途に応じる添加剤配合の最適化に必要な対策を適時に講じて、原価を下げながらも生産性を高めた。

技術陣は必要な物質の科学的な配合比率を確定して炉設備に利用される耐熱コンクリートの寿命を延ばし、補修周期を増やし、燃焼模型による真空鋳造方法でクリンカー冷却機の必須部品を自力で解決した。

祥原石灰石鉱山の労働者たちは、先進的な発破技術を取り入れて巨石発生率を大幅に減らし、野積場を利用した鉱石生産方法を取り入れて多量の燃料油を節約し、時間当たりの生産量を引き上げて年間10余万トンの鉱物を増産した。

三青鉱山でもリサイクルを着実に推し進め、自分の力と技術によって能率の高い油圧式積載機を製作・導入し、トロッコの回帰時間を短縮するなど、物質的・技術的土台を強化する上で新たな進展をもたらし、操業当時に比べて生産を2.8倍以上も増大させた。

祥原セメント連合企業所の労働者たちの献身的な努力によって、数十万トンの増産課題が成功裏に完遂された。

結果、前年に比べてセメントや石膏の生産量が107%以上に増え、数万トンのクリンカー、10余万トンの石灰石が増産され、連合企業所全体の指標別生産計画が成功裏に完了した。

屈指の肥料生産拠点である南興青年化学連合企業所と興南肥料連合企業所が革新の創造で沸き立った。

2025年の計画を南興は12月3日、興南は12月6日に完遂し、年末まで数万トン増産を決起して総攻撃戦を展開した。

南興の労働者たちは年末まで4万トンの肥料増産を目標とし、興南の労働者たちは12月22日まで2万トンの肥料を増産したが、満足せず成果を拡大した。

2025年に農業部門でも目覚しい成果がもたらされた。

全国の小麦栽培面積は前年より数万ヘクタール増えたが、小麦生産計画は120%以上超過遂行され、多くの地域と単位が多収穫を上げた。

晩生穀物栽培もうまくいって至る所で豊作を収め、多くの農場で喜びに満ちて決算分配を行った。

種子革命、二毛作、科学農業、機械農業が農業生産で実質的な変革をもたらす確実な構成要素となり、農村支援熱意も一層高まり、農業に支障をきたしていた自然災害に対応する能力も向上した。



農作業の機械化水準が前年より更に高まり、2025年に計画された灌漑建設目標が成功裏に達成されるなど、農業生産基盤が一層強化され、今後の確信が持てる大きな土台が築かれた。

これらの誇るべき成果は、全国の農業勤労者の強い愛国的熱意がもたらした立派な結実であった。

朝鮮労働党は2025年にも農業を主要部門の一つと定め、持続的な発展軌道に確実に乗せるための科学的な実践方略を明示し、次々と強力な実行措置を講じながら持続的な上昇を目指す変革闘争の幅と深度を不断に拡大した。

そうして社会主義田野が年頭から沸き立った。

肥料と農薬などの営農物資と設備、資材、資金を農村に計画通り提供するための強い対策が講じられ、全ての地域と部門、単位が年初から農村を思想・精神の面で、労働力や物質の面で積極的に支援した。

1月にしても、平壌市では一日間に機関、企業、工場と区域、郡で用意した多くの堆肥を市内の複数の農場に集中輸送し、省・中央機関でも労働力と共に営農に切実に必要な設備・資材を惜しみなく保障した。

このように年初から高揚した農村支援熱風は、年間の営農が完了する日までたゆまず続いた。

農業への国家の大きな投資は、農業部門の幹部と勤労者に全ての営農工程の遂行で愛国の力を残らず発揮するようにした原動力となった。

平原郡の幹部と農業勤労者は1月10日まで11万2000余トンの自給肥料を生産し、数百の農業機械を基本的に修理・整備し、黄州郡では2月中に数百ヘクタールの酸性土壌を改良し、100余の農業機械を製作し、数十カ所の揚水場建設を完成した。

これらの郡だけでなく、全国の多くの地域と農場でも多収穫を上げるために農作業準備から着実に行うなど力を傾けた。

その勢いで春季営農活動を適期に実行しながら穀物増産熱意を高めた。

初春から気温の変動が甚だしく、雨が頻繁に降るなど、気候条件はたいへん不利であったが、各地の幹部と農業勤労者は基本面積の田植えを適期に終え、早生穀物栽培に倍加の努力を傾けて良好な小麦作柄をもたらした。

全国的に32の多収穫郡と多くの多収穫農場、多収穫作業班が輩出した。

特に11の農場、170余の作業班ではヘクタール当たり平均8トン以上の小麦生産実績を上げた。

2025年に各地の農村では農業を科学的に営むための活動が一層深化した。

栄養冷床苗の導入が平安南道などの平野地帯はもちろん、全国各地の農場でねばり強く、大胆に推進された。

2025年に農業の物質的・技術的基盤も一層強化された。

7月まで計画された16万余ヘクタールの水田灌漑工事が完了し、数千ヘクタールの畑が水田に変わった。

价川―台城湖水路と平南灌漑水路の灌漑構造物の大補修が短期間に完了して当該地域に灌漑用水が難なく流れ、平安北道では用水不足で影響を受けていた1000余ヘクタールの水田に用水を十分に提供できるようになった。

ミル原水路の灌漑構造物建設及び補修が期限前に完遂されて当該地域



の農業に大いに寄与した。
　農村機械化の実現においても大きな革新が起こった。
　咸興連結農業機械工場、江界トラクター部品工場など主要農業機械生産単位の改造・近代化工事が立派に完了して、農業の総合機械化実現の強固な土台が築かれた。
　こうして平野部の農場だけでなく山間部の農場、それに以前に立ち後れていた農場にも豊作がもたらされた。
　『豊年の歌』の歌声が高く響く決算分配場で農業勤労者は、米をもって祖国を支える決意を固めた。

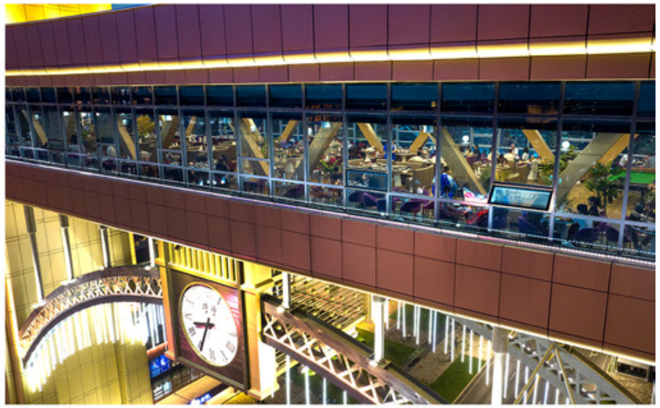
壮大な建設事業

　2025年に平壌の和盛地区にはもう一つの市街が建設された。
　軍民建設者たちはねばり強い連続闘争を展開して、1年という短期間に和盛地区第3段階建設工事を立派に終えて、平壌市5万世帯住宅完工の決定的な保証をもたらした。
　都市区画が第1段階、第2段階とは異なる様相を呈して、超高層・高層住宅、教育、保健医療施設と商業及び給食サービス施設、技術及び娯楽サービス施設など各種の近代的なサービス施設が独特な調和を成した新しい大建築群が建てられることによって、和盛地区はまる一つの都市行政区域としての政治・経済・文化的機能を確保し、首都圏の既存地域を文明開化へと先導する中心、モデルとなった。
　朝鮮労働党中央委員会第8期第9回総会は、平壌市5万世帯住宅建設の4回目の年である2024年に首都建設5カ年計画完遂の勝算を確定する和盛地区第3段階1万世帯住宅工事を力強く推し進め、近代的な文化生活拠点を建設して和盛地区が行政区域としての機能を円滑に果たすようにするという課題を示した。
　金正恩総書記は、第3段階地区を以前の段階とは異なる特有の性格の付与された区画に、人民により高い物質的・文化的福祉を与えるように建設するために、およそ660余件の形成案を一つ一つ完成させた。
　軍民建設者は勇気百倍、意気軒昂として首都建設5カ年目標達成のため

の新しい段階工事に急遽進入した。
　90余ヘクタールの敷地面積にほぼ152万平方メートルの延べ建築面積の住宅建築群と教育、保健医療、商業及び給食サービス施設などの公共及びサービス建物を同時に建設しなければならない和盛地区第3段階1万世帯住宅建設は、その規模と質的水準において従来の段階を凌ぐ壮大な建設闘争であった。
　着工してから短期間のうちに166万余立方メートルに及ぶ根切り工事が順調に終わり、基礎コンクリート打ち込みも短期間のうちに完了し、住宅骨組工事が本格的に進められた。
　軍民建設者は、象徴性の強い高架橋形式の和盛金剛館をはじめとする特色のある商業及び給食サービス施設、技術及び娯楽サービス施設を立派に建設した。




사회주의 만세!








화성락원 불고기식당



近代的な都市区画にマッチする園林景観を造成するための準備活動も先を見通して着実に進められて、6万9400余本の樹木が植えられ、30余万平方メートルの芝生がつくられた。

3月15日、完工を間近にした建設場を訪れた金正恩総書記は、現代性を生かして新時代に相応した明確な変化と進歩を遂げるための諸問題を明らかにした。

4月3日、竣工を前にした和盛地区第3段階区域の重要サービス施設の運営準備状況を再び指導した金正恩総書記は、首都建設をより高い段階へ発展させ、首都の住民と全国人民の物質的・文化的福祉を飛躍的に向上させようとする党政策実現の綱領的指針を示した。

4月15日、竣工式に出席してテープカットを行った総書記は、平壌市5万世帯住宅建設に貢献している軍隊と社会の労働革新者に会って激励し、新居入りする勤労者や老人たちに会った。

船橋区域栗谷1洞29人民班に住んでいたキム・ギョンロク老は総書記を身近でお目にかかった喜びを禁じ得ず、「敬愛する元帥さま、ありがとうございます」と3回も感謝の挨拶をささげた。

中区域鳥灘洞2人民班に住んでいたオ・グムスク老は、不便な身で杖を突いて家族と共に竣工式に参加し、総書記に会うようになった。

彼女は「敬愛する元帥さま、本当にお会いしたかったです。党の配慮で素晴らしい住宅が割り当てられ、今日は敬愛する元帥にまでお目にかかって本当に心残りはありません」と感激した心情を吐露した。

東平壌火力発電所の設備検査係チェ・ミョンフンは、和盛地区の近代的な新しい住宅が与えられただけでも身に余ることなのに、小学生の息子ヒョンソンが金正恩総書記に花束を贈り、家族全員が総書記にお目にかかる光栄に浴したとして激情に駆られていた。

金正恩総書記が懐に抱いて頬を撫でてやった子どもは、普通江区域楽園高級中学校教員チョ・ミョンチョルの娘チョンエである。

万景台区域建国洞16人民班に住んでいるキム・セシク老は、涙がこみあげて素朴な挨拶しかささげることができなかった。

金正恩総書記は、このように近代的な住宅を今になって与えることになって申し訳ないとし、今日、感激と歓喜に満ちている市民の姿を見て、人民のためにより多くの仕事を引き受ける決心がさらに固まったと

述べた。

2024年に自然災害を被った平安北道と慈江道、両江道の被害復旧建設を展開し、地方の全面的発展という壮大な革命段階を推し進める中でも、平壌市にもう一つの1万世帯大建築群が立ち上がったのは、朝鮮労働党の継続革命精神と国家の尽きない潜在力の一大示威であった。

2025年に全国的に3万2千余世帯の農村住宅が新しく建設された。

新しい農村住宅に農業勤労者が入居し、全国が新居入りの慶事でにぎわった。

特に10月に入ってからは、ほぼ毎日のように新居入りニュースが報じられ、これは全国の農業勤労者に新しい生活、新しい文明に対する自信と楽観を抱かせた。

全国の農村を地域の特色が生かされながらも現代文明が集約された社会主義理想郷に変貌させる遠大な構想を示した朝鮮労働党は、2025年にも農村住宅建設を力強く推進できる方向と方途を明示した。

そうして党の示した農村建設目標を達成するための取り組みは、新しい高い段階へと拡大・発展するようになった。

全国的な農村建設を担当した幹部たちは、党の農村建設構想を実現する上で第一も第二も施工の質の保障であることを肝に銘じ、施工、設計、建設監督に当たる活動家たちとの協同を強めることに深い関心を払った。

農村建設中央指揮部では、国の至る所でスケールの大きい大建設が行われていることに即して、地方の建材生産基盤を強化し、効率を高めるための作戦や指揮を深化させた。

その中で各道で鉄鋼材生産拠点の生産能力を拡張するための取り組みが着実に進められた。

また、仕上げ建材生産拠点が新設され、60余の仕上げ建材生産拠点の生産能力が向上した。

各地の幹部と建設者は、計画された農村住宅建設を立派に完了するための活動をねばり強く展開した。

両江道では北部高山地帯の不利な気象気候条件にもかかわらず、20余の農場に数千世帯の農村住宅を立派に建設した。

平壌市郊外の農場にも新しい農村集落が建設され、多くの農業勤労者




주체농법





が仙境村の住人となり、咸鏡北道と平安北道、羅先市など全国各地に新しい農村集落が建設された。

載寧郡地方工業工場の竣工から「地方発展20×10政策」江東郡病院と総合奉仕所建設の着工式、最大規模の温室農場と野菜科学研究中心建設の着工式、楽園郡浅海養殖事業所建設の着工式と和盛地区第4段階1万世帯住宅建設の着工式など、その一つ一つの建設事業は、全面的興隆の新たな領域と境地を切り開かなければならない未踏の道であり、この膨大な建設事業の実行は、人民の幸福にさらなる幸福を加える極めて重要で、意義深い事業であった。

金正恩総書記はこれらの意義深い着工式で、天が崩れ落ちても人民の福祉のための有意義な事業を自分が無条件に、全面的に引き受けて必ず実現する揺るぎない意志と、全国人民の生活や祖国の津々浦々にまたもやもたらされるはずの新時代の変化に対する感慨を重ねて披瀝し、建設









者と全国の人民に勝利への信念を与え、科学的な目標を明示した。

このように出発を宣言した金正恩総書記は、多くの建設現場を絶え間なく訪ね回った。

新義州温室総合農場の建設現場は4回、江東郡病院と亀城市病院の建設現場は2回にわたって訪れ、楽園郡浅海養殖事業所と平壌総合病院、和盛地区第3段階1万世帯住宅の建設現場は完工を間近にした時や完工した時、竣工を前にした時にも訪れた。

その他にも、温浦勤労者休養所、学用品工場と教具・校具工場、竣工を前にした多くの地方工業工場の建設現場も絶えず訪れた。

2025年に朝鮮人民は、数多くの竣工式場で金正恩総書記の英姿を目にした。

2025年は竣工で明けて竣工で暮れるほどに、わが祖国の歴史にかつてなかった、竣工の大慶事を数多く記録した文字通り竣工の年であった。





全国が竣工の歓喜と熱気に満ち溢れたのは、単に幸せに暮らすようになった喜びだけではなかった。

築かれた文明の富を自負する前に、喜びに満ちている人民の姿を見たくて、明日に対するより素晴らしい抱負と設計、固い信頼を与えたくて相次いで竣工式場を訪ねる金正恩総書記をいただいたがゆえに、この国の竣工の喜びはなおさら大きいものである。

金正恩総書記は、載寧郡地方工業工場と元山葛麻海岸観光地区の竣工式、楽園郡浅海養殖事業所と地方工業工場や総合奉仕所の竣工式で、大いなる誇りと自負、より多くの仕事を引き受ける決心と意志を披瀝した。

そして、意義深い竣工式で幸福を享受する人民を抱きもし、腰を曲げて挨拶もしながら人民に大きな祝福を送った。

2025年は建設速度においても飛躍が遂げられた年であった。

190余日、これは養殖事業所の近代的で先進的な生産施設と低層や平屋のさまざまな住宅、便益サービス施設が周辺の自然環境と特色あるように調和した楽園浦の完工期日である。

280余日、これは保健医療革命の将来を構想して鍬入れをしたその日から、インフラから最後の医療設備と器具に至るまで技術的に互換されるべき機能性建築として初めて建設する江東郡病院が竣工を迎えた日までの期間である。

2025年の初めに全国の20の市・郡で同時に響き渡った地方工業工場の壮快な着工の発破音が、年末には壮大な竣工の祝砲音につながって全国を沸き立たせた。

社会主義文化の新たな進展

朝鮮のスポーツ選手も2025年を意義深く飾った。

朝鮮のスポーツ選手は、優勝の金メダルをもって祖国と人民の期待に報いるという一念に燃えて、2025年に行われた国際競技で20余個のカップと150余個の金メダルを含む270余個のメダルを獲得し、10余件の世界新記録を樹立する成果を達成した。

頼もしい女子サッカー選手たちは、新しい朝鮮女子サッカー神話を再び生み出した。

朝鮮の女子サッカーチームは、2025年国際サッカー連盟U－17女子ワールドカップ競技大会で、前年についで再び優勝に輝き、大会史上唯一の2連覇を果たしたチーム、初めてワールドカップを4回も獲得した強豪チームとして世界の絶賛を浴びた。

朝鮮の選手たちが競技で発揮した強靭な精神力と高い肉体技術的能力は、世界の数多くのサッカー専門家と愛好家、観衆の関心を引いた。



世界女子サッカー界に波紋を投じた驚異的なサッカー神話は、アジアは言うまでもなく、世界覇権を握った朝鮮女子サッカーの底力と将来性に対する明確な誇示であった。

熱烈な祖国愛を抱いて勝利に向けて力強く前進する朝鮮の女子サッカー選手の強靭な精神力は、朝鮮女子サッカーならではの気質であり、優勝の決定的保証であった。

重量挙げ選手たちも世界重量挙げ界を揺さぶる奇跡を生み出した。

朝鮮の重量挙げ選手たちは、2025年国際重量挙げ連盟世界青少年及び青年選手権大会、2025年アジア重量挙げ選手権大会などで目覚しい成果を収めた。

特に、2025年国際重量挙げ連盟世界選手権大会に参加した朝鮮の選手たちは、17個の金メダル、5個の銀メダル、1個の銅メダル、合計23個のメダルを獲得し、10件の世界新記録を樹立して、祖国の尊厳と威容を宣揚した。









この選手権大会で朝鮮の男女重量挙げチームは、国別・地域別のメダル獲得順位でそれぞれ第1位を占め、女子選手たちは12件の世界新記録のうち9件を樹立して国別世界記録保有順位で断然第一位を占めたばかりでなく、選手権大会の国別・地域別メダル獲得順位で再び1位をした。

2025年カタールカップ重量挙げ競技大会で朝鮮の選手たちは、6人が参加して18個の金メダルを獲得することによって、世界重量挙げ界を再び驚嘆させた。

この他にも、複数の選手権大会で朝鮮の選手たちは立派な競技成果で祖国の栄誉を輝かせた。

2025年世界レスリング選手権大会に参加した朝鮮の選手たちは、3個の金メダル、2個の銀メダル、2個の銅メダル、合計7個のメダルを獲得し、女子団体カップ(第2位)を授与された。

2025年世界水中スポーツ選手権大会でも、朝鮮の選手たちは目覚しい成果を上げた。

朝鮮のテコンドー選手たちは、テコンドー母国の尊厳と威容を力強く宣揚した。

70余カ国と地域の男女選手1180余人が参加した第23回テコンドー世界選手権大会で、朝鮮の選手たちは、46個の金メダルを含む74個のメダルと総合優勝カップを授与され、国別総合順位で第1位に輝く成果を収めた。

この大会で朝鮮のテコンドー選手たちが発揮した不屈の精神力と高い競技意識は、どの国も、誰も追随することも、真似ることもできない手本のようなものであった。

第2回アジア空手選手権大会及びカップ競技大会に参加した朝鮮の選手たちも、8個の金メダル、1個の銀メダル、1個の銅メダルを獲得した。

保健医療部門でも革新が起きた。

勤労する人民が国家から付与された権利を享受する上で必須不可欠なのがほかならぬ近代的な保健医療施設である。

時代が発展するにつれ、生命保護と健康増進への要求は物質経済生活に対する要求をはるかに上回るようになり、保健医療の実態は国の面貌と制度の性格を映し出す鏡、物差しであると言える。



平壌総合病院は、建築様式から全ての構成要素と空間環境が患者の精神的・心理的安定を図りながらも、先進建築術の諸要求を具現しており、各系統の専門施設と設備が保健衛生性と医療サービスの科学性、円滑性を保障できるように整えられている。

朝鮮労働党が構想し力強く実行していく全ての事業は、ひたすら人民の生命を守り、生活の質を改善しようとする一つの目標を指向しており、これは保健医療分野の発展を促している。

朝鮮労働党が打ち出した保健医療近代化の戦略は、一言で言って、同時推進戦略である。

言い換えれば、中央病院と地方病院の建設、個々の保健医療施設建設と全国的な医療サービスインフラの建設を同時に推し進め、治療とサービス、人材育成と科学研究を並行させて国の保健医療部門を同時に盛り立てることである。

最近開始され、近い将来に全国の人民が実感できる保健医療革命の力強い前進を主導していく強力な拠点、保健医療近代化の母体拠点がほかならぬ平壌総合病院だと言える。

平壌総合病院は、保健医療近代化において中枢的かつ中核的な役割を





果たす診断・治療中心、臨床研究及び普及中心、学術交流中心、専門家育成拠点として新たに建てられる全国の全ての病院に対する科学的で専門的、かつ系統的な指導と人的及び物質的・技術的支援を可能にする主導者、先導者、援助者である。

10月6日に行われた平壌総合病院の竣工式では、金正恩総書記がテープカットを行った。

11月3日に平壌総合病院が開院した。

ついで、保健医療振興の力強い勢いと輝かしい将来性を示す近代的な地方病院が竣工の日を迎えた。

11月19日、「地方発展20×10政策」によって新たに建設された江東郡病院の竣工式が行われた。

金正恩総書記が竣工式に出席して意義深い演説を行い、テープカットをしてから病院の各所を見て回った。

竣工式の参加者たちは江東郡病院を視察しながら、地方の人民が自分の住む地域で首都の住民に劣らぬ先進的な医療サービスを受けられる全ての条件が備わった病院の優れた治療環境条件に驚嘆を禁じ得なかった。

江東郡病院の竣工は、全国各地に相次いで到来する新しい生活、新しい福祉を確信させる意義深い慶事となり、朝鮮労働党の保健医療革命方針をより一層拡大・施行する上で重要な実践的意義を持つ跳躍と進歩の契機となった。

12月13日、平安北道亀城市では地域住民の健康増進に寄与する亀城市病院の竣工式が行われた。

金正恩総書記が竣工式に出席してテープカットを行い、病院の各所を見て回った。

亀城市病院は、保健医療革命の元年である2025年の意味をさらに際立たせる今一つの貴い創造物である。

12月29日、2025年度の竣工シーズンの終わりを飾って、南浦市の竜岡郡病院と地方工業工場の竣工式が行われた。

金正恩総書記が竣工式に参加してテープカットを行い、病院を見て回った。

竜岡郡病院と地方工業工場の竣工により、朝鮮労働党は、2025年に計





画した模範的な病院と総合奉仕所、そして20の市・郡地方工業工場の建設を成功裏に完了し、人民の絶対的な支持と愛国的熱意に依拠して社会主義建設の全面的発展をより早められる新たな局面を開いた。

こうして2025年は、地方発展政策の正当性と生命力を現実をもって確実に実証した歴史的な年として記録されるようになった。

誰も挑戦できない防衛力

2025年、朝鮮の防衛力はいかなる敵対勢力も挑戦する考えすらできないようにより一層強化された。

いかなる戦争にも対処できる準備を整えた朝鮮人民軍は、政治・思想強兵化と訓練熱風のるつぼの中で鋼鉄の隊伍に鍛えられ、国防工業部門では先端兵器を開発・生産した。

この強力な防衛力によって、敵対勢力の侵略策動が続く中でも祖国の空は青く、人民の幸福の笑い声はさらに高く響いた。

朝鮮人民軍を無敵の強兵に

2025年に入っても、朝鮮に対する米国と敵対勢力の侵略策動は年頭から依然として続けられた。

1月3日、傀儡韓国海軍は東・西・南海の全水域で一斉に駆逐艦や護衛艦などの戦闘艦船と軍用機を動員して戦争の雰囲気を鼓吹し、わが共和国に対する敵視政策をあらわにした。

そして、歩兵と砲兵、工兵部隊が同時多発的に各種の戦争演習の幕を上げ、機甲旅団がこれに加わった。朝鮮の長射程砲武力集団の無力化を狙った米国と傀儡韓国の連合大火力戦演習が行われる中、1月15日には米軍の「B—1B」戦略爆撃機が朝鮮半島の上空に飛来して米日韓連合空中訓練を行い、同日、米韓空軍の空中実弾射撃訓練も行われた。

ついで、米国と傀儡韓国空軍の連合空中訓練である「サンメ訓練」が数日間行われ、朝鮮に対する不意の奇襲を狙った連合特殊戦訓練も行われた。

1月は傀儡韓国駐屯米空軍が大雪にもかかわらず戦闘機を出撃させ、共和国に対する先制打撃訓練を熟達させることで終わった。

朝鮮を狙った戦争演習が新年の最初の月の最終日まで目の前で毎日のように行われた現実は、2025年にも米国と傀儡韓国の共和国に対する敵対的軍事行動が前例のないほど頻繁に行われるということを予告した。

米国は、いわゆる敵対国の日増しに増大する「戦略的脅威」から米本土と同盟国の安全を保証するという看板の下、ミサイル防衛システムをさらに拡大するという構想を発表した。これに関連して朝鮮民主主義人民共和国外務省軍縮及び平和研究所は、2月2日、報道発表文を公布して、これは必ず地域諸国の安全上の憂慮を大きくするだろう、朝鮮民主主義人民共和国は今後も、敵対勢力の日増しに増大する軍事的威嚇に限界を知らぬ軍事力の強化で応えるだろうし、強力な自衛力に依拠して世界の平和を守り、より安定した地域安保環境を構築していくだろうと強調した。

年頭から始まった米国と傀儡韓国の地域の緊張を激化させる無責任な行動は年末まで続き、朝鮮半島には常に緊張状態がかもし出された。

朝鮮では、朝鮮人民軍を百戦百勝の精鋭隊伍に強化するための活動に一層大きな力を入れた。

朝鮮人民軍は、思想と信念、道徳の面でしっかりした政治・思想強兵、百戦百勝の戦略・戦術と大胆無双の攻撃方式、完璧な実戦能力を備えた無敵の戦闘隊伍、先端武力装備を整えた精鋭強兵、朝鮮労働党の宿願を先頭に立って実現する文明の開拓者である。

金正恩総書記のエネルギッシュな軍建設指導により、2025年にも朝鮮人民軍は不敗の精鋭隊伍として強化・発展された。

総書記が示した軍建設思想・理論は、朝鮮人民軍を名実共に強兵に強化・発展させる上で綱領的指針となった。

2月8日、金正恩総書記は朝鮮人民軍創建77周年に際して国防省を祝賀訪問し、意義深い演説を行った。

総書記は演説で、国家の周辺環境をはじめとする世界的な政治的・軍事的及び地政学的構図変化の特徴について概括し、いかなる可変的な安全形勢にも主動的に対処できるように共和国武力の臨戦・対応態勢をより高度化することに言及した。

朝鮮半島地域に常時展開されている米国の核戦略手段と、実戦水準で行われている米国主導の二国間及び多国間の核戦争模擬演習、米国の地域軍事ブロックのシナリオに従って構築された米日韓3カ国軍事同盟体制とそれを機軸とするアジア版NATOの形成は、朝鮮半島と東北アジア地域における軍事的不均衡を招き、新たな激突構図をつくる根本要因として作用しており、朝鮮の安全環境に重大な挑戦をもたらしている。

金正恩総書記は、人民軍の戦闘能力を最高度へ引き上げる原則に基づいて訓練革命の炎を激しく燃え上がらせ、2025年を訓練の年にすること、戦争に対処する準備を現代戦の要求に即してより徹底的に整えること、鉄の規律と健全な軍風を確立するための強い闘争を繰り広げることをはじめ、わが軍を無敵必勝の革命強兵によりしっかり強化・発展させていく上で指針となる綱領的課題を示した。

金正恩総書記の国防省訪問は、朝鮮民主主義人民共和国の百戦必勝を武装でもってしっかりと保証し、熱烈な開拓精神と不屈の気概をもって全面的国家興隆のための全人民的な大進軍を強く牽引していくべきわが革命武力の気高い使命感をより深く銘記させる契機となった。

2月24日、金正恩総書記は80回目の創立記念日を迎える金日成政治大学を訪問し、綱領的な演説を行った。

総書記は演説で、長い歳月と歴史の変転の中でも、わが軍の政治的・思想的品格が軍を創建した世代に、祖国と人民に終始一貫恥じることなく忠実であるのは、革命的武装集団の継承性を保証する重要な位置でその役割を立派に果たしてきた金日成政治大学の功績を抜きにしては考えることができないと述べた。

金正恩総書記は、軍隊の思想的・道徳的優位性はすなわち軍隊の質的な優勢であるということは厳然たる哲理であると強調し、軍隊を軍事的・技術的に武装させるに先立って思想的に武装させるのが軍の建設で中核になるとし、軍人と兵器、思想を武装力の3大要素と見なすという新たな見解を披瀝した。総書記は大学の各所を見て回り、学習と軍務生活で模範的な学生たちに会って励ました。

金正恩総書記が軍事・政治教育の最高学府に印した指導の足跡は、英雄的な朝鮮人民軍が世紀を継いで継承してきた政治・思想強兵、道徳強兵の栄誉を引き続き輝かせ、いかなる敵も、いかなる挑戦も一撃の下に撃退できる威力ある思想的・理論的指針を与えた歴史的なものであった。

2月25日、金正恩総書記は権威のある指揮官養成拠点である姜健総合軍官学校を現地で指導した。

学校に到着した金正恩総書記はまず、金日成主席の忠実な戦友であり、有能な軍事指揮官であった抗日革命闘士の姜健の胸像に花輪を献じた。

花輪のリボンには「わが軍は姜健、あなたの名前を永遠に記憶するであろう」という文が書かれていた。

金正恩総書記は、共和国の正規的革命武力の誕生と目覚しい強化のための聖業に貴い生をささげて礎石をなした朝鮮人民軍の初代総参謀長である姜健の特出した功績について振り返り、偉大な軍創建世代に崇高な敬意を表した。

総書記は、総合軍官学校の教職員、学生の分列行進を査閲し、学生の撃術模範出演を見た後、校内の各所を見て回った。

総書記は学校の教員、学生の実弾射撃競技と総合機材体育訓練も見た。

姜健総合軍官学校に対する金正恩総書記の現地指導は、新時代の軍事教育革命の著しい変化と進歩の基盤をもたらした決定的な転機、わが軍を強兵に強化・発展させていく上で里程標としての意義を持つ重大な契機となった。

4月4日、金正恩総書記は朝鮮人民軍特殊作戦部隊の訓練基地を訪れ、総合訓練を指導した。

訓練は、現代戦の発展様相と変化の推移に即して特殊作戦武力の強化を目指す朝鮮式の新しい戦法と方法論を不断に探究・適用し、実用的な実戦訓練過程を通じて熟達させて、全ての戦闘員をいかなる戦闘状況の下でも課された特殊作戦任務を頼もしく、立派に遂行できるようにより徹底的に準備させることに目的を置いて行われた。

戦闘員たちは、全ての訓練で独自的な作戦能力とわが軍の戦いの気概、百発百中の射撃術を遺憾なく示した。

金正恩総書記は、戦闘員たちの自動小銃射撃訓練と狙撃兵小銃射撃訓練を指導した。

特殊作戦部隊に新たに装備する狙撃兵小銃の試射を直接行い、その結果も確かめた総書記は、朝鮮式に開発した狙撃兵小銃の性能と威力に大きな満足を表した。

ついで総書記は、特殊作戦部隊の戦闘員たちの総合特殊体育訓練を見た。

訓練に参加した戦闘員たちは、勇猛なつわものに鍛えられた自分たちの肉体技術的能力を遺憾なく発揮した。

金正恩総書記は、いかなる戦争や危機にも対応できる勇気と胆力、揺るぎない自信を抱いて訓練で最強の実戦能力をさらに強固なものにしている将校と兵士たちを褒めたたえた。

訓練に参加した全ての軍人は、革命武力の尖兵によりしっかりと準備していく決意を固めた。

5月に入り、朝鮮に反対する核戦争を既成の事実として極度の冒険的な核戦争シナリオを公開し、ついで朝鮮半島と周辺地域で核作戦演習を連続的に行う米国と追随諸国の無謀な情勢激化策動は、朝鮮の武力をして迅速な反応力と徹底した臨戦態勢を整えることを求めていた。

全軍の圧倒的な戦争対応能力を向上させるための朝鮮人民軍各級の戦闘訓練が強力に実施されている中、5月8日、東部前線の長射程砲及びミ









サイル兵区分隊の戦闘力向上のための合同打撃訓練が行われた。
　金正恩総書記が指導したこの訓練には、600ミリ多連装ロケット砲と戦術弾道ミサイル「火星砲—11ガ」型が動員された。
　訓練は、国家核兵器総合管理システムに従って600ミリ多連装ロケット砲及びミサイル攻撃システムを運用する手順に当該の区分隊を熟達させることに目的を置いて行われた。
　朝鮮民主主義人民共和国国防省スポークスマンは、この訓練について紹介しながら、敵によって増大する敏感な地域の軍事情勢の変化に対処できるわが武力の迅速な対応態勢と能力を見せる十分な行動的措置となるであろうと強調した。
　訓練では、射撃に先だって「核の引き金」システム運用の信頼性を段階別に点検した。
　全ての区分隊を核反撃態勢へ迅速に移行させる手順と工程に熟達させるための細部訓練と、指揮官のための反撃システム運用に関する別途の特別講習が行われた。
　ついで、火力区分隊は分担された方向及び距離上のさまざまな敵の対象物を同時的で順次に各個または合同打撃をした。
　訓練の目的は達成され、いかなる核危機事態にも迅速に反応できる指揮・動員システムの信頼性が検証された。
　金正恩総書記は、戦術核兵器システムの戦闘的信頼性をさらに高め、運用空間を複合的に不断に拡張していくための重要課題を提示した。
　5月13日、朝鮮人民軍訓練指揮官大会の講習システムの中で訓練模範講習として行われた万能大隊基準突破のための特殊作戦区分隊の戦術総合訓練と戦車兵区分隊間の対抗競技、模範火力協同訓練が行われた。
　金正恩総書記は朝鮮人民軍首都防御軍団第60訓練所を訪れ、訓練指揮官大会の講習システムの中で行われる兵種別戦術訓練模範講習を参観した。
　万能大隊基準突破のための特殊作戦区分隊の各種の戦術演習と戦車兵区分隊の対抗競技の順で行われた訓練は、参観者の大きな関心を引いた。
　この日、金正恩総書記は万能大隊基準資格を突破した朝鮮人民軍第11軍団管下区分隊の戦闘員に会い、訓練の前衛部隊、戦争準備完成のモデルの役割を果たしたことを高く褒めたたえ、彼らを激励した。
　5月15日、金正恩総書記は朝鮮人民軍近衛第1空軍師団管下飛行連隊を訪れ、空軍飛行隊の対空戦闘及び空襲訓練を指導した。
　金正恩総書記は、航空武力装備の開発に関する需要者、生産者間の合意結果と展望計画についての報告を聞き、高いレベルの新世代航空攻撃及び対空兵器システムの開発に関する党中央の見解を述べ、その実現のための重要な課題を示した。
　訓練は、各方角から来襲する敵の巡航ミサイルと自爆無人攻撃機を探知・追跡・掃滅するための対空防御任務とさまざまな電子手段で敵の無人攻撃機を無力化し、掃滅する戦闘任務に飛行隊と対空ミサイル区分隊、電波探知機区分隊と電子戦区分隊を熟練させることに目的を置いて行われた。
　また、新しい長距離精密滑空誘導爆弾の適用試験と対象物に対する飛行隊の襲撃戦闘訓練も行われた。
　敵の巡航ミサイルと自爆無人攻撃機を探知・追跡・掃滅するための対







空防御戦術任務で、対空ミサイル区分隊と探知電子戦区分隊は空中目標を探知・追跡する任務のみを遂行し、飛行隊は実戦環境でのように空中担当区域で警戒飛行任務を遂行して来襲する空中目標を探知・追撃・掃滅する方法で行われた。

訓練を通じて、近衛第1空軍師団管下の飛行連隊の対空防御能力が検証された。

訓練では、ヘリコプターによる敵の無人機の掃滅と海上目標に対する飛行隊の精密爆撃訓練について、無人戦略偵察機、多目的無人機の示威飛行が行われた。

5月29日、朝鮮人民軍大連合部隊の砲兵区分隊間の砲撃競技が行われた。

金正恩総書記が参観した砲撃競技では、前線大連合部隊長たちが直接火力指揮を行った。

砲撃競技に参加した各級砲兵区分隊は、巧みな砲撃術を遺憾なく示した。

朝鮮人民軍大連合部隊の砲兵区分隊間の砲撃訓練競技は、7月23日にも



行われ、金正恩総書記が競技を参観した。

砲撃訓練競技は、各砲兵区分隊を夜間行軍と戦闘展開、夏季の海岸地帯環境と条件の下での不意の敵目標に対する火力襲撃能力を点検し、現代砲兵戦の戦闘組織法に熟達させ、火力任務遂行結果を判定して順位を決める方法で行われた。

射撃命令を受けた砲兵区分隊は、朝鮮式の戦闘教範に精通し、一撃の下に敵を懲罰できるようにしっかりと鍛えてきた実力を遺憾なく発揮し、不意に提示された海上目標を限られた時間内に急襲した。

金正恩総書記は、競技の判定で提示された全ての目標を円滑に達成し、強い「優」の成績で優勝した朝鮮人民軍第4軍団第28歩兵師団第16砲兵連隊の第3大隊第2中隊の戦闘員たちを祝い、表彰として戦勝72周年慶祝行事に特別に招いた。

戦勝72周年慶祝行事に招かれた中隊の戦闘員たちは、7月26日、祖国解放戦争勝利記念館で金正恩総書記と記念写真を撮った。

朝鮮人民軍総参謀部の戦闘訓練計画に従い、朝鮮人民軍大連合部隊管下の戦術的砲兵区分隊の射撃訓練競技が、8月11日に行われた。

射撃訓練競技は、火力支援戦闘行動組織法に対する戦術的単位である砲兵区分隊の熟達程度を厳格に点検・判定し、優れた区分隊の模範を全軍に一般化させることに目的を置いて行われた。

朝鮮労働党中央軍事委員会副委員長である朴正天党中央委員会書記が砲撃訓練競技を参観した。

射撃訓練競技にはさまざまな口径の迫撃砲兵区分隊が参加した。

朝鮮人民軍大連合部隊長たちの火力指揮に従って、不利な障害物区間を克服し、火力陣地に機動展開した各迫撃砲兵区分隊は、戦術任務に従って出現するさまざまな敵の目標と重要施設に対する打撃任務の遂行に進入した。

砲身からせん滅の砲弾が急速に発射される中、砲兵たちは百発百中の射撃術で定められた時間内に目標を打撃・掃滅した。

射撃訓練競技では、砲兵器システムの効率性と運用性を絶えず高度化する過程で到達した戦術的単位である各砲兵区分隊の高い戦闘力と経常的な動員態勢が遺憾なく検証された。

朝鮮人民軍総参謀長が大連合部隊別の総合順位を発表した。射撃訓練

競技で強い「優」の成績で優勝した第9軍団第55機甲歩兵旅団第6大隊82ミリ迫撃砲兵中隊に名砲手賞が、軍人たちには名砲手メダルとバッジが授与された。

朝鮮人民軍大連合部隊管下の戦術的砲兵区分隊の射撃訓練競技は、圧倒的な戦闘力で国家の安全と主権を頼もしく守っていくわが軍の強い対敵意志を示す契機となった。

8月27日、金正恩総書記は朝鮮人民軍総参謀部直属の特殊作戦訓練基地を訪れ、狙撃兵区分隊と特殊作戦区分隊の訓練状況を確かめた。

総書記は訓練基地で、特殊任務遂行のために編制された狙撃兵たちと特殊作戦部隊の軍人たちに会い、区分隊が装備した武力装備実態と訓練状況を確かめた。

金正恩総書記は、部隊に供給されている新型狙撃兵小銃について確かめた。

金正恩総書記は、国防科学院が兵器の人間工学的性能と狙撃兵の戦術的機動性を高められるように設計・開発した新型狙撃兵小銃の遠距離高精密狙撃特性と優越性について評価し、われわれの部隊がこのような新



世代の狙撃兵器を持つようになったのはたいへん喜ばしいことだとして満足を表した。

金正恩総書記は、国防省が2025年から狙撃兵区分隊に供給する迷彩服を任務遂行地帯の条件と季節の特性に即して立派に生産することについて指示した。

金正恩総書記は、狙撃兵区分隊の実弾射撃訓練を見た後、特殊作戦部隊の戦闘員たちの総合特殊体育訓練を見た。

訓練に参加した軍人たちは、無敵必勝の戦闘部隊の尖兵に準備している自分たちの肉体技術的能力をあまねく誇示した。

金正恩総書記は彼らと記念写真を撮った。

また、遠距離高精密狙撃能力を遺憾なく発揮し、優れた射撃術を見せた3人の狙撃兵を祝って個別記念写真を撮り、狙撃兵区分隊の将校、兵士とも記念写真を撮った。

11月1日、金正恩総書記は朝鮮人民軍第11軍団指揮部を訪れた。

総書記は作戦研究室で、軍団長からさまざまな作戦状況に備えた大連合部隊の軍事行動計画に関する報告を聞いた。

金正恩総書記は、わが武力の特殊作戦能力を強化・発展させるための戦略的方針と重要課題を示した。

総書記は、無比の勇猛さと気概を遺憾なく発揮する戦闘員たちの訓練様子を見ながら、世界で最も低劣かつ卑劣な敵対勢力から国家の主権と発展権をしっかり守り、人民の運命と未来を頼もしく守らなければならない重大な使命の決行に万端の準備を整えたわが武力の完璧な臨戦態勢に大きな満足を表した。

そして、その聖なる本領に全身全霊を打ち込んでいる軍人たちを激励した。

朝鮮人民軍第11軍団指揮部に対する金正恩総書記の視察は、共和国武力をいかなる形態の戦争でも百戦百勝する現代化された無敵の軍隊に強化・発展させる上で重大な意義を持つ歴史的な契機となった。

11月28日、朝鮮人民軍空軍創設80周年記念行事が葛麻飛行場で行われた。

金正恩総書記が記念行事に参加した。

総書記は、朝鮮人民軍空軍と管下部隊の軍旗に戦闘的敬礼を表し、

空軍儀仗隊を査閲し、展望台に上って航空節記念空軍示威飛行を参観した。

勇敢な飛行士たちは、轟々たる爆音と共に大地を蹴って飛び立った。

金正恩総書記は、2機編隊で示威飛行を行う女性飛行士たちを激励した。

飛行士たちは澄んだ祖国の青空に美しい三色の飛行機雲を引き、祝砲弾を炸裂させながら、巧みな操縦術を遺憾なく発揮した。

金正恩総書記は示威飛行を終えた飛行士たちに会い、いかなる戦闘任務をも完璧に遂行できる高い飛行術を示したことを褒めたたえた。

総書記は、創設80周年を迎える朝鮮人民軍空軍の将兵と記念写真を撮った。

金正恩総書記は、ついで行われた記念報告会で、航空節記念行事に特別招待された退役将官たちに会い、国家領空防衛力の強化・発展のために全てを尽くした空軍の老将たちの献身的な生涯と偉勲を高く評価した。

金正恩総書記は、記念報告が終わった後、朝鮮人民軍空軍創設80周年に際して演説を行った。

金正恩総書記は、朝鮮労働党中央委員会、朝鮮労働党中央軍事委員会







の提議により、朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議常任委員会が創設80周年を迎える空軍に栄誉の金正日勲章を授与するという政令を採択したことについて発表し、朝鮮労働党中央委員会、朝鮮労働党中央軍事委員会の共同祝賀文を伝えた。

ついで、朝鮮人民軍空軍創設80周年記念公演が明沙十里劇場で行われた。

金正恩総書記が空軍の将兵たちと共に公演を観た。

朝鮮人民軍空軍の将兵たちの高い思想的・精神的世界と祖国と人民のために献身する軍服務の功績を立派な芸術的形象化で感動深く見せた公演は、観客から絶賛を受けた。

同日夕、朝鮮民主主義人民共和国国防省は朝鮮人民軍空軍創設80周年を記念して宴会を催した。

金正恩総書記が宴会に出席した。

金正恩総書記の出席の下に行われた朝鮮人民軍空軍創設80周年記念行事は、祖国の上空を鉄壁のごとく守っていく人民空軍の揺るぎない信念と意志を示した意義深い契機となった。

国家防衛力の急速な発展

2月初め、米国は傀儡韓国を相手にした2件の兵器販売承認を公式に通知した。

そこには、傀儡韓国海軍に納める最新型の無人機をはじめ総1億7060万ドル規模の装備と3億5000万ドル分の兵器部品が含まれているという。

このような戦略兵器の支援は年初から年末まで続いた。

朝鮮民主主義人民共和国は、敵対勢力の戦略兵器支援及び搬入策動により強力な戦略兵器開発及び装備政策をもって対抗した。

2月26日の午前、朝鮮人民軍西部地区ミサイル連合部隊の当該区分隊は、朝鮮西海の海上で戦略巡航ミサイルの発射訓練を行った。

発射訓練の目的は、朝鮮民主主義人民共和国の安全環境を甚だしく侵害し、対決環境を助長し激化させている敵対勢力に任意の空間での朝鮮人民軍の反撃能力とさまざまな核運用手段の準備態勢を認識させ、国家






核抑止力の信頼性を誇示するとともに、戦略巡航ミサイル区分隊を不意の火力任務遂行に熟達させることであった。

金正恩総書記が発射訓練を参観した。

戦略巡航ミサイルは7961秒、7973秒間に1587キロの楕円形軌道に沿って飛行して標的を命中打撃した。

朝鮮民主主義人民共和国の核抑止力の構成部分の信頼性と運用性を持続的に試験し、その威力を誇示すること自体が戦争抑止力の責任ある行使であった。

核武力のより徹底した臨戦態勢を堅持し、その運用に万端の準備を整えることによって、信頼に足る核の盾で国家の主権と安全を永久的に守っていくことは、共和国の核武力に付与された責任ある使命と本分であった。

3月20日、朝鮮民主主義人民共和国ミサイル総局は、当該軍需工業企業で本格的な生産を始めた最新型対空ミサイル兵器システムの総合的戦闘性能を点検するための試射を行った。

金正恩総書記が党中央軍事委員会の主要メンバーと共に試射を参観した。

試射を通じて、最新型対空ミサイル兵器システムの戦闘的即応性が優れており、全般的な兵器システムの信頼性が非常に高いと認められた。

3月25日と26日、金正恩総書記は、無人航空技術連合体と探知電子戦研究集団の国防科学研究活動を指導した。

総書記は、無人航空技術連合体傘下の研究所と企業で新たに開発して生産している各種の無人偵察及び自爆攻撃型無人機を確かめ、性能試験を参観した。

試験ではさまざまな戦略対象と、地上と海上での敵軍の行動を追跡・監視できる探知能力を備えた新型無人戦略偵察機の革新的な性能が実証され、多様な戦術攻撃任務の遂行に利用できる自爆無人機の打撃能力が示された。

試験では、新世代の国防科学研究集団の明晰な頭脳実力によって、軍近代化建設路線の各段階の目標が立派に達成されていることが高く評価された。

急速に発展する海軍武力の近代性を示しながら、朝鮮民主主義人民共

和国の海上主権を揺るぎなく保証していく新しい実体が出現した。

新たに建造された駆逐艦の進水記念式が、金正恩総書記の参加の下に朝鮮革命の初の武装力の創建日である4月25日、南浦造船所で行われた。

進水記念の辞では、艦船工業部門の労働者階級が建造した強力な武装を備えた5000トン級の駆逐艦が、間もなく祖国の青い海に守護者の聖なる新しい名前を刻むことになる、われわれの力と技術でわずか400余日ぶりに近代的な駆逐艦を建造したことは極めて鼓舞的な現実であり、海軍戦力の強化へ進む道程で決定的な進歩を成し遂げた出来事であると強調された。

新型多目的駆逐艦の等級の規定と艦の名称、艦の番号を規定することに関する朝鮮労働党中央軍事委員会の命令書が発表され、朝鮮人民軍海軍の東海艦隊司令官に手渡された。

金正恩総書記が親筆で署名した朝鮮労働党中央軍事委員会の命令に従い、新たに建造した5000トン級の新型多目的駆逐艦が「崔賢」級に等級



分類され、領袖への限りない忠実性を体質化した軍事活動家の典型であり、共和国武力の元老であり、百戦老将である抗日革命闘士の崔賢の名で命名された。

金正恩総書記が、朝鮮人民軍海軍東海艦隊の指揮官に駆逐艦「崔賢」号の軍艦旗を授与した。

東海艦隊司令官は決意討論で、傲慢無礼な帝国主義海賊群れの制海権を圧倒的に粉砕できる最強の武装を夢の中でも渇望していた宿願が叶えられたと語った。

駆逐艦の進水式を記念して朝鮮民主主義人民共和国国防相が進水のロープを切った。

駆逐艦に上って艦長の迎接報告を受けた金正恩総書記は、艦の船首、船尾のデッキを見て回り、海兵に会って励ました。

駆逐艦では抗日革命闘士の崔賢の記念像の除幕式が行われた。

金正恩総書記は崔賢の記念像に花を献じて敬意を表した。

金正恩総書記は、艦を下りて駆逐艦の建造に寄与した南浦造船所の功労者に会った後、艦の指揮官や将校に記念銅コインを授与し、歴史的な演説を行った。

自衛的国防技術の集合体である駆逐艦は、対空、対艦、対潜、対弾道ミサイル能力は言うまでもなく、攻撃手段、すなわち超音速戦略巡航ミサイル、戦術弾道ミサイルをはじめ陸上打撃作戦能力を最大限に強化できる武装システムが搭載されて多目的水上作戦が遂行できるようになり、その結果、地上作戦に対する海軍の直接の支援を強めることができるようになった。

駆逐艦は、艦船の性能と作戦遂行能力の評価、統合装備運用試験など必要な工程を経て海軍に引き渡され、作戦に入るようになった。

金日成主席の忠実な革命戦友であった崔賢の生涯に海兵との特別な縁はなかったが、新世代の初の駆逐艦を「崔賢」号と称するようになったのは、勇猛と気概の象徴として朝鮮人民の記憶に残っている彼の精神が新世代の海兵の精神に宿り、海軍が刻んできた年輪になかった勝利を轟かせていくことを願ったからである。

自力抗日の経綸で武装隊伍を組織して祖国の解放に大きな功績を立て、建国、建軍の草創期について帝国主義連合軍を撃滅する道程で

金日成主席を一途な信念と優れた軍事的資質で補佐した金策、安吉、崔賢、姜健のようなパルチザン出身の軍指揮官は全て真の将軍であり、実力家であった。

この日、新型多目的駆逐艦の進水式を記念して朝鮮人民軍海軍が催した宴会と中央芸術団の祝賀公演が行われた。

金正恩総書記は祝賀公演が終わった後、海軍の退役将官たちに会い、



海軍の重要職で長い間誠実に服務しながら限りない犠牲的精神と不屈の気概で海軍史に不滅の航跡を残した以前の将官たちの偉勲を高く評価した。

新型多目的駆逐艦の進水式は、朝鮮人民軍海軍の新たな誕生を告げる一大慶事、先進海洋強国の雄大な目標に向けて怒濤のごとく前進するわが国家と人民の前進気勢と必勝の気概を力強く示した大きな出来事であった。

朝鮮民主主義人民共和国ミサイル総局と国防科学院、探知電子戦総局は、駆逐艦「崔賢」号に搭載された武装システムの性能及び戦闘適用性試験に着手した。

駆逐艦の初の兵器システム試験が、4月28日と29日に行われた。

4月28日、超音速巡航ミサイルと戦略巡航ミサイル、対空ミサイルの試射と127ミリ艦上自動砲の試射が行われた。

金正恩総書記がミサイル総局と国防科学院、探知電子戦総局、南浦造船所の指導幹部と共に初の試射を参観した。

金正恩総書記は兵器システム試験日程に入った駆逐艦を訪れて、兵器システム審査グループから艦船武装システムの試験段階別の日程と内容を具体的に確かめ、初の試射を見た。

指導幹部たちは、127ミリ艦上自動砲の威力に深い関心を示した。

4月29日、艦対艦戦術誘導兵器と各種の艦上自動機関砲、煙幕及び電子障害砲の試射が行われた。

5月初め、金正恩総書記は重要戦車工場を現地で指導した。

国防科学院と工場の労働者や技術者は、朝鮮式の戦車と装甲兵器の開発と戦闘的性能の向上において立派な発展と成果を収めた。

こうして、戦車工業部門ではより発展的な展望が開かれ、特に主力戦車の核心技術をさらに完成するという党中央軍事委員会の思想と方針が、立派な開発及び生産成果によって実現していた。

戦車工業部門では、朝鮮式戦車の構造の設計と火力システムの系統構成を更新し、戦車乗組員の操作利便性を向上させ、高出力エンジン設計の科学性と信頼性を実証するとともに、ロット生産の確実な保証をもたらした。

特に、一体式動力伝達装置の開発により、戦車の走行及びさまざまな

機動上の特性を向上させ、新型能動防護総合体と受動防護手段、電子戦総合体をより革新的に更新した全ての成果は、朝鮮式戦車の核心技術における大きな進歩を意味した。

2回目となる朝鮮人民軍海軍駆逐艦の進水記念式が6月12日、羅津造船所で行われた。

記念式では、金正恩総書記が親筆で署名した駆逐艦の等級規定と命名に関する朝鮮労働党中央軍事委員会の命令を国防相が発表し、艦船等級及び命名証書を朝鮮人民軍海軍の東海艦隊司令官に手渡した。

朝鮮労働党中央軍事委員会の命令により、新たに建造された駆逐艦を「崔賢」級に、艦の名称を「姜健」号に命名した。

金正恩総書記が、朝鮮人民軍海軍東海艦隊の指揮官に駆逐艦「姜健」号の軍艦旗を授与した。

駆逐艦に上って艦長の迎接報告を受けた総書記は、艦の船首、船尾デッキを見て回り、海兵たちを励ました。

駆逐艦では朝鮮人民軍の初代総参謀長であった抗日革命闘士の姜健の記念像が除幕された。

金正恩総書記は建軍功臣の記念像に花を献じて敬意を表した。

駆逐艦の進水を記念する公演が行われた。

朝鮮人民軍海軍駆逐艦「姜健」号の進水記念式は、朝鮮の海軍を国家核抑止力の一翼を担った強力な軍種として急速に発展させ、国家の主権と領土の保全、安全利益を徹底的に守っていこうとする朝鮮労働党の揺るぎない決断と意志の力強い誇示となり、朝鮮人民の愛国闘争に巨大な活力を注ぐ画期的な契機となった。

6月13日、金正恩総書記は重要軍需工業企業所を現地で指導した。

総書記はプレス職場、スピニング職場、組立職場をはじめとする企業所の複数の生産現場を見て回りながら、2025年の上半期の砲弾生産実態と能力拡張及び近代化状況をつぶさに確かめた。

9月18日、金正恩総書記は無人航空技術連合体傘下の研究所と企業所で開発・生産している無人武力装備の性能試験を指導した。

この日の試験では、無人戦略偵察機の軍事戦略的価値と革新的な性能、そして「金星」系列の戦術無人攻撃機の優れた戦闘的効果性がはっきりと実証された。

9月26日、金正恩総書記は核兵器研究所をはじめ核関連部門の科学者、技術者に会い、核物質及び核兵器生産に関する重要協議会を指導した。

金正恩総書記は、核物質生産部門の2025年度の能力拡張計画推進状況についての報告を聞き、核兵器研究所の活動と重要生産活動を確かめた。

総書記は、核物質生産部門と核兵器研究所で新たな重大戦略の二つの課題を実行した結果、国の核能力高度化のキーポイントが完璧に解決されたと満足の意を表した。

10月4日、前例や限界を越えて加速化する国家防衛力の発展ぶりを示しながら、武力装備展示会「国防発展—2025」が平壌で盛況裏に開幕した。

金正恩総書記が武力装備展示会「国防発展—2025」の開幕式に出席して、朝鮮人民軍儀仗隊と陸・海・空軍の軍旗を査閲し、記念演説を行った。

展示会は、朝鮮の国防科学技術の世紀的な飛躍と軍需工業の全面的な発展様相の縮図だとも言えた。

参加者たちは展示会場を見て回りながら、わずか一年の間に以前とは異なる発展様相で目の前に繰り広げられた朝鮮の国防力の実体に終始一貫驚きを禁じ得なかった。

朝鮮労働党創立80周年を迎える全国に激動や歓喜を増して開幕した武力装備展示会「国防発展—2025」は、朝鮮労働党が導く共和国の武装力の変化ぶりを予告する意義深い契機となった。

金正恩総書記は10月5日、武力装備展示会「国防発展—2025」の第2日参観日程として朝鮮人民軍海軍駆逐艦「崔賢」号を視察した。

この日駆逐艦では、党中央軍事委員会が海軍将兵のために催した宴会が行われた。

12月25日、金正恩総書記は8700トン級原子力戦略誘導弾潜水艦の建造を現地で指導した。

金正恩総書記は、核潜水艦の建造現場を見て回りながら進捗状況についての報告を受けた。

朝鮮労働党の海軍近代化方針を貫徹するための闘争に総奮起した艦船建造部門の労働者と科学者、技術者は愛国の情熱を遺憾なく発揮し、第8

回党大会が示した国防力発展の5大重点課題の一つである核戦略攻撃潜水艦の建造を力強く推し進めていた。

この日、金正恩総書記は新たに開発している水中秘密兵器の研究実態もつぶさに確かめ、海軍武力の改編と新しい部隊の創設に関する戦略的構想を明示した。

金正恩総書記は新型対空ミサイル試射を参観した。

朝鮮民主主義人民共和国ミサイル総局は12月24日、朝鮮東海上で新たに開発している新型高空長距離対空ミサイルの試射を行った。

この試験は、開発中の高空長距離対空ミサイルシステムの戦術的・技術的評価のための初の試射であった。

発射された対空ミサイルは、200キロ界線の仮想高空目標を命中・掃滅した。

この試験は、国家対空防衛手段の技術高度化のためのミサイル総局と管下の対空兵器システム研究所の正常な活動の一環であった。

金正恩総書記は重要軍需工業企業所を訪れ、第4・四半期のミサイル及び砲弾生産実態を確かめた。

重要軍需工業企業所は、2025年度に示達された生産計画を成功裏に完遂し、国防力発展計画の実行で中枢的かつ中核的な役割を果たした。

12月28日、朝鮮西海上で長距離戦略巡航ミサイルの発射訓練が行われた。

発射訓練は、長距離ミサイル区分隊の反撃対応態勢と戦闘能力を点検し、ミサイル兵を機動と火力任務遂行の手順に熟達させ、当該戦略兵器システムの信頼性を点検することに目的を置いて行われた。

金正恩総書記が戦略巡航ミサイルの発射訓練を参観した。

戦略巡航ミサイルは1万199秒、1万203秒間、朝鮮西海の上空に設定された軌道に沿って飛行して標的を命中・打撃した。

発射訓練の結果は、われわれの戦略的反撃能力の絶対的な信頼性と戦闘力に対する実践的な検証であり、明確な誇示であった。

12月28日、金正恩総書記は重要軍需工業企業所を訪れ、兵器・戦闘技術機材の生産実態を確かめた。

総書記は、党中央軍事委員会の決定によって朝鮮人民軍の主要部隊に装備させるべきロケット砲車の生産実態を確かめた。

このロケット砲兵器システムは、朝鮮の砲兵武力の構成を完全に一新させ、高精度と恐るべき破壊力を持っていることで打撃の集中さと不意さで敵を焦土化することができ、戦略的攻撃手段としても利用できるので、文字通り超強力的な兵器システムである。

金正恩総書記のこの日の現地指導は、国の戦争抑止力を実用的に増大させる上で重大な新しい里程標となった。

自主・平和・親善の理念の下に

朝鮮労働党と共和国政府は、自主・平和・親善の理念に下に朝鮮に友好的な全ての国との関係を発展させている。

朝鮮は、完全な平等と自主性、相互尊重と内政不干渉、互恵の原則に基づいて多くの国と国家的または政治・経済・文化的関係を結んでいる。

2025年、金正恩総書記の外国訪問、各国からの代表団や特使、人士の参加の下に行われた朝鮮労働党創立80周年行事をはじめとする慶祝行事は、世界が朝鮮に対する理解を深め、多くの国が朝鮮との関係を改善及び発展させるようにした重要な契機となった。

朝ロ同盟関係の新たな転機をもたらして

2025年、朝ロ両国首脳によって朝鮮とロシア連邦との戦略パートナーシップはより強化された。

金正恩総書記は3月、ロシア連邦の安全保障会議代表団を率いて朝鮮を訪問しているセルゲイ・ショイグ安全保障会議書記に会った。

金正恩総書記は、6カ月ぶりに再び平壌を訪れたセルゲイ・ショイグ書記と温かく対面し、信頼の情が溢れる親善的な雰囲気の中で談話を交わした。

金正恩総書記に送るロシア連邦のウラジーミル・V・プーチン大統領の温かい挨拶と重要親書をショイグ書記が丁重に伝えた。

金正恩総書記はこれに深い謝意を表し、尊敬するウラジーミル・V・プーチン大統領に送る戦闘的な挨拶を伝えた。

談話では、朝ロ両国の安全利益と国際正義を守るための重要問題、地域及び国際情勢に関する両国指導部の見解と意見が幅広く交換され、完全に一致した立場を確認した。

金正恩総書記は、ロシアの軍隊と人民が展開している特殊軍事作戦は、不屈の力と愛国主義、正義の偉業に対する示威であるとし、今後も国家主権と領土保全、安全利益を守り抜くためのロシアの闘争を変わることなく支持することは朝鮮民主主義人民共和国政府の確固不動の選択であり、意志であると言明した。

談話では、包括的戦略パートナーシップに関する条約の条項を無条件に実行していく両国指導部の用意が披瀝された。

金正恩総書記は、ショイグ書記と安全部門を含む多面的な部門の交流と協力をより拡大・強化していくための将来的な活動について重要かつ有益な談話を交わした。

金正恩総書記は、ロシア人民の前途に常に勝利と繁栄、幸福と幸運があることを祈願するとし、尊敬するプーチン大統領とロシアの政府、軍隊と人民に送る温かいお祝いの言葉を伝えた。

朝ロ両国間の包括的戦略パートナーシップに関する条約に従い、二国間交流と協力を強化するための実践的措置が積極的に講じられている中、朝ロ国境自動車橋梁の建設が着工した。

朝ロ国境自動車橋梁の建設は、経済協力の重要インフラを構築・補強し、人員の往来と観光、商品流通をはじめとする二国間協力を多角的に活性化できる実質的な保証をもたらす事業であり、両国の親善関係発展に新たな活力を加える意義深い契機となった。

朝ロ両国政府と人民の深い関心と期待の下、4月30日、朝鮮民主主義人民共和国の国境都市羅先市とロシア連邦の国境都市ハッサンで着工式が同時に行われた。

5月9日、金正恩総書記はロシアの偉大な祖国戦争勝利80周年に際して、駐朝ロシア連邦大使館を祝賀訪問した。

アレクサンドル・マツェゴラ駐朝ロシア連邦特命全権大使と大使館の主要メンバーが金正恩総書記を丁重に迎えた。

金正恩総書記は、今日、戦勝80周年を迎えてわが党と政府、人民の祝意を特命全権大使同志を通じてロシア連邦指導部と兄弟のロシア人民に伝えるために大使館を訪問したとし、自分の祖国の最も神聖で喜ばしい祝日を迎える大使館員たちを祝った。

特命全権大使と大使館員たちは、金正恩総書記に心からの感謝の挨拶をささげた。

金正恩総書記が偉大な祖国戦争勝利80周年に際してロシア人民に送る祝福の花かごが伝えられた。

ついで、金正恩総書記が祝賀演説を行った。

金正恩総書記は、ロシアの偉大な戦勝節を迎えてロシア人民に寄せる朝鮮人民の友情を直接伝える契機を持つようになった所感を披瀝し、わが党と政府、共和国武力と全ての朝鮮人民を代表して、ロシア連邦大統領と国家指導部、勇敢なロシア軍と全てのロシア公民、参戦老兵と戦時功労者に熱烈な祝賀の挨拶を送った。

金正恩総書記は、長い80余年の間、消しがたい友愛と連帯のページを数多く記してきた両国間の歴史的伝統と、世界の平和と人類の運命と文明を救ったソ連の軍隊と人民の不滅の功績、それと共に絶対不変の5・9節の歴史的意味と、血潮をもって証明された朝ロ同盟関係の強固さに言及し、ロシアが偉大な強国建設偉業を必ず成就するものとの確信を表明しながら、ロシア人民の限りない繁栄と幸福を心から祈った。

金正恩総書記は、朝鮮労働党中央委員会、朝鮮民主主義人民共和国国務委員会、朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議常任委員会、朝鮮民主主義人民共和国内閣がロシア連邦指導部と全てのロシア人民に送る共同祝賀文を特命全権大使に直接伝えた。

総書記が無名の戦士の英雄的な生涯と偉勲を象徴する「永遠なる炎」に贈る花かごが献呈された。

ロシア連邦大使館の全てのメンバーは、長い歴史と立派な伝統で結ばれた朝ロ友好団結史に特記すべき足跡を残した金正恩総書記を熱烈に歓送した。

6月4日、金正恩総書記は、プーチン大統領の委任により、ロシア連邦の安全保障会議代表団を率いて訪朝したセルゲイ・ショイグ書記に会った。

席上では、朝ロ両国間の特殊かつ強固な包括的戦略パートナーシップをより確実に発展させて共同の核心利益を守るための一連の重要問題、各分野における相互協力事項が真摯に討議され、ウクライナ事態を巡る情勢発展と国際及び地域情勢に関する両国指導部の見解と意見が幅広く交換され、完全に一致した立場を確認した。

6月17日、金正恩総書記は、プーチン大統領の特別委任により、ロシア連邦の安全保障会議代表団を率いて再び訪朝したセルゲイ・ショイグ書記に会った。

金正恩総書記は、朝鮮民主主義人民共和国とロシア連邦間の包括的戦略パートナーシップに関する条約締結1周年になる意義深い時期に平壌を訪れたセルゲイ・ショイグ書記を喜んで迎え、温かい談話を交わした。

朝鮮人民軍部隊の軍人がクルスク地域解放作戦で発揮した英雄的偉勲を長く伝えるための一連の構想と計画が討議され、合意を見た。

金正恩総書記は、特殊軍事作戦とクルスク州の現況に対する正確な理解に基づいて、両国間条約の枠内で朝鮮民主主義人民共和国が協力すべき内容を確定して関連計画を受諾し、必要な協力方案を具体的に討議した。

談話は、終始友好的で信頼の情の溢れる和気藹々とした雰囲気の中で行われた。

両国人民は、歴史的な朝ロ首脳の平壌対面と朝鮮民主主義人民共和国とロシア連邦間の包括的戦略パートナーシップに関する条約締結1周年を共同の慶事として意義深く慶祝した。

金正恩総書記は、6月29日、朝ロ両国間の新たな条約締結1周年に際して、ロシア連邦文化省代表団を率いて訪朝したオリガ・リュビモワ文化相に会った。

団長は席上で、尊敬する金正恩総書記が多忙を極める中でもロシア連邦文化省代表団の平壌訪問に深い関心を払っていることに心からの謝意を表した。

談話は、終始温かい友好の雰囲気の中で行われた。

オリガ・リュビモワ文化相は東平壌大劇場で、金正恩総書記に、ロシアの大記念碑と有名な建築物、美しい自然と主要都市の風景を撮った写真を見せた。

この日、金正恩総書記はロシア連邦の文化相と共に、ロシア芸能人の平壌訪問公演と朝鮮芸能人の答礼公演を観覧した。

金正恩総書記はロシア連邦文化省代表団と別れる際、オリガ・リュビモワ文化相に、尊敬するロシア連邦大統領ウラジーミル・V・プーチン同志と全てのロシア人民に送る温かい祝福を伝えてほしい、と述べた。

7月12日、朝鮮民主主義人民共和国の崔善姫外相とロシア連邦のセルゲイ・ラブロフ外相間の第2回戦略対話が元山で行われた。

朝ロ外相間の戦略対話では、国家元首たちの構想と意図通りに朝ロ関係の大幅の進展を加速化する上での当面の実践的問題が深く討議され、両国間の包括的戦略パートナーシップに関する条約の精神と諸条項を誠実に履行することで、長い歴史的根源と伝統を持っている朝ロ関係を百年の大計の戦略的関係に発展させようとする確固たる意志を再確認した。





双方は、国際舞台で相互協力を強化し、国家主権と領土保全、国際正義を守るための戦略的疎通と協力をさらに深化させていく立場を再び披瀝した。

朝ロ外相は、相レベルの戦略対話をはじめ両国の対外政策機関間の意見交換を各レベルで引き続き行うことに合意した。

戦略対話について、朝鮮民主主義人民共和国外務省とロシア連邦外務省間の2026年～2027年交流計画書が締結された。

朝ロ外相間の第2回戦略対話は、新しい国家間条約に即して両国関係を全方位的に拡大・発展させ、両国間の戦略的・戦術的協同と支持・連帯を強めていく上で有意義な契機となった。

7月12日、金正恩総書記は朝ロ外相間の第2回戦略対話に参加するために訪朝したロシア連邦のセルゲイ・ラブロフ外相に会い、談話を交わした。

談話では、2024年6月の歴史的な朝ロ首脳会談で成し遂げられた合意を忠実に履行し、未来志向的な新時代の朝ロ関係の不抜さと生命力を誇示し、朝ロ間の包括的戦略パートナーシップをより確実に発展させて共同の核心利益を守るための一連の重要問題と各分野における相互協力事項、国際及び地域情勢に関する両国指導部の意見が幅広く交換され、完全に一致した立場を確認した。

朝鮮民主主義人民共和国政府は、訪朝したロシア連邦のセルゲイ・ラブロフ外相を歓迎して12日夕、元山葛麻海岸観光地区の明沙十里ホテルで宴会を催した。

8月12日、朝鮮民主主義人民共和国国務委員長である金正恩同志はロシア連邦のプーチン大統領と電話対話を行った。

両国の国家元首たちは、朝鮮民主主義人民共和国とロシア連邦間に締結された包括的戦略パートナーシップに従って各分野での協力関係がさらに深化・発展していることを高く評価し、今後の協力強化に関する意志を確認した。

両国の国家元首たちは、互いの関心事となっている問題に対する意見を交換した。

金正恩総書記とプーチン大統領は、今後より緊密に接触していくことに合意した。

8月14日午後、金正恩総書記は祖国解放80周年に際してロシア連邦国家会議代表団を率いて朝鮮を祝賀訪問したロシア連邦国家会議ビャチェスラフ・ウォロジン議長に会った。

談話は親善的な雰囲気の中で行われた。

この日、ロシア連邦国家会議代表団は錦繡山太陽宮殿を訪れて偉大な領袖金日成主席と偉大な指導者金正日国防委員長に敬意を表した。

また、朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議常任委員会委員長とロシア連邦国家会議議長との会談が行われた。

会談では、共同の努力で平和、正義の新世界を建設し、両国人民の福祉と親善関係発展のための二国間協力をより一層拡大・発展させる問題と、互いの関心事となっている問題が討議された。

朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議は、ロシア連邦国家会議代表団を歓迎して宴会を催した。

8月15日、金正恩総書記は祖国解放80周年に際して解放塔を訪れた。

金正恩総書記は、朝鮮の解放のための聖戦に参戦して勇敢に戦ったソ連軍の烈士たちに崇高な敬意を表した。

団結と友誼の新たな転機を開いていく朝ロ両国人民は、朝鮮の自主独立が成就された8月15日を共通の慶事、共通の祝日として意義深く慶祝した。

祖国解放80周年に際して朝鮮を訪問したロシア芸術団の慶祝公演が8月15日、平壌体育館で行われた。

金正恩総書記がロシア連邦国家会議ビャチェスラフ・ウォロジン議長と共に観覧席に姿を現すと、全ての参加者は熱狂的な拍手で歓迎した。

祖国解放80周年に際したロシア芸能人たちの平壌訪問公演は、朝ロ両国人民間の兄弟的な連帯をさらに深める契機となった。

9月3日午後、金正恩総書記は北京の釣魚台国賓館で、中国人民抗日戦争及び世界反ファシズム戦争勝利80周年記念行事に参加したロシア連邦ウラジーミル・V・プーチン大統領と会談した。

金正恩総書記は、プーチン大統領との北京対面を記念して写真を撮った。

金正恩総書記はプーチン大統領と重要国際及び地域問題について虚心坦懐に意見を交換した。

対面は、終始同志的かつ友好的な雰囲気の中で行われた。

金正恩総書記は兄弟のロシア人民に送る温かい挨拶を伝えながら、プーチン大統領と別れの挨拶を交わした。

10月9日午後、万寿台芸術劇場では、朝鮮労働党創立80周年を共通の慶事、共通の祝日として意義深く祝っているロシア連邦の立派な祝福と親善の情を抱いて平壌を訪れたロシア芸術団の慶祝公演が行われた。

公演を観た金正恩総書記は、今回の公演は日増しに深まる朝ロ関係の緊密さと兄弟的友誼をより昇華させる上で特色のある寄与をするであろうと述べた。

朝鮮労働党中央委員会の趙甬元書記と全ロシア政党「統一ロシア」のドミトリー・メドベージェフ委員長との会談が9日、平壌議事堂で行われた。

「統一ロシア」代表団の朝鮮労働党創立80周年慶祝行事への参加は、両国政権党の間の関係をより拡大・発展させ、朝ロ間の包括的戦略パートナーシップ、同盟関係を深化させる上で有意義な契機となった。

10月9日、最高人民会議常任委員会の崔竜海委員長は平壌議事堂で、表敬訪問してきたロシアの国会政党代表団団長である社会主義政党「正義のロシア・愛国者・真理のために」委員長・国家会議党グループ責任者のセルゲイ・ミロノフ、ロシア自由民主党委員長・国家会議国際問題委員会委員長のレオニド・シュルツキ、ロシア連邦共産党中央委員会副委員長・国家会議国際問題委員会第1副委員長のドミトリー・ノビコフと各代表団の主要メンバーに会い、親善的な雰囲気の中で談話を行った。

10月10日、金正恩総書記は朝鮮労働党創立80周年に際して全ロシア政党「統一ロシア」代表団を率いて朝鮮を祝賀訪問した「統一ロシア」のドミトリー・メドベージェフ委員長に会った。

金正恩総書記は、ドミトリー・メドベージェフ委員長を温かく迎え、同志的かつ親善的な談話を交わした。

談話では、朝鮮労働党と「統一ロシア」間の接触と協力をさらに活性化するための展望計画が討議され、国際及び地域情勢をはじめ互いに関心を寄せる問題に対する幅広い意見が交換された。

ロシア連邦外務省の招きによってロシア連邦を訪問した朝鮮民主主義人民共和国崔善姫外相は、10月27日、モスクワのクレムリンでロシア連

邦ウラジーミル・V・プーチン大統領に会い、ロシア連邦セルゲイ・ラブロフ外相と会談を行った。

2025年に行われた朝ロ間の多くの対面と会談は、両国関係のさらなる強化・発展に積極的に寄与した。

永遠なる朝中友好

7月26日、金正恩総書記は祖国解放戦争勝利72周年に際して友誼塔を訪れた。

金正恩総書記名義の花輪が友誼塔に献じられた。

総書記は、祖国解放戦争の偉大な勝利の歴史に刻まれた中国人民志願軍烈士の戦闘的偉勲と功績を永遠に忘れないだろうと述べた。

9月2日午後、金正恩総書記は中国人民の抗日戦争及び世界反ファシズム戦争勝利80周年記念行事に参加するために専用列車で中華人民共和国の首都北京に到着し、9月3日には記念行事に出席した。

抗日戦争及び世界反ファシズム戦争での偉大な勝利は、朝中両国人民と進歩的諸人民の運命開拓において根本的転換をもたらし、植民地諸国の民族解放闘争と人類の自主化偉業を力強く励ました世界史的な出来事であった。

金正恩総書記は習近平主席に会って挨拶を交わし、記念行事に招かれた世界各国の国家元首及び政府首班、国際機関の指導者たちと共に記念写真を撮った。

金正恩総書記は習近平主席と談笑しながら天安門広場の幹部壇に上がった。

そして天安門で抗日戦争に参加した老兵たちに会い、戦勝節を意義深く、かつ盛大に迎える彼らを熱烈に祝った。

現地時間で午前9時、中国人民の抗日戦争及び世界反ファシズム戦争勝利80周年記念大会が始まった。

この日人民大会堂では、中国人民の抗日戦争及び世界反ファシズム戦争勝利80周年を記念する招待会が開かれた。

金正恩総書記は各国の指導者たちと共に招待会に出席した。

9月4日午後、金正恩総書記は人民大会堂で中国共産党中央委員会総書記・中華人民共和国主席習近平同志と会談した。

習近平主席が金正恩総書記を温かく迎えた。

金正恩総書記は習近平主席と挨拶を交わし、朝中両国の国旗を背景に記念写真を撮った。

金正恩総書記は中国の党と政府、人民が朝鮮民主主義人民共和国代表団を誠意を尽くして格別に歓待してくれたことに謝意を表し、中国人民の抗日戦争及び世界反ファシズム戦争勝利80周年記念行事を大政治祝典として盛大に行ったことを祝いながら、この契機を通じて世界の平和を守り抜こうとする中国の揺るぎない決意を示し、中国の重要な国際的地位と影響力をはっきり誇示したと述べた。

習近平主席は、中国の党と政府、人民を代表して金正恩総書記の中華人民共和国訪問を改めて熱烈に歓迎するとし、金正恩総書記が中国人民の抗日戦争及び世界反ファシズム戦争勝利80周年記念行事に参加したのは第2次世界大戦の勝利的結果をしっかり守ろうとする朝鮮側の確固たる意志を示し、中朝両党・両国の友好・協力関係をより一層発展させる重要な契機になったと述べた。

習近平主席は、中国と朝鮮は運命を共にし、互いに助け合う立派な隣邦であり、立派な友人であり、立派な同志だとし、中国の党と政府は伝統的な中朝友好を高度に重視しており、中朝関係を立派に守り、立派に強化し、立派に発展させる用意があると指摘した。

そして、国際情勢がどう変わってもこの立場は変わらないだろうとし、中国側はこれまでと同様今後も朝鮮が自国の実情に合う発展の道を歩み、朝鮮式社会主義偉業の新たな局面を不断に切り開いていくことを支持すると強調した。

金正恩総書記は、国際情勢がいかに変わろうとも朝中両国間の友好の感情は変わることがなく、朝中関係を不断に深化・発展させるのは朝鮮労働党と朝鮮民主主義人民共和国政府の確固たる意志であると確言し、朝鮮は今後も国家の主権と領土保全、発展利益を守るための中国共産党と中華人民共和国政府の立場と努力を全面的に変わらず支持・支援するであろうと述べた。

朝中両国の最高指導者たちは席上で、朝鮮民主主義人民共和国と中華

人民共和国間の高位級往来と戦略的意思疎通を活発化する問題と関連して虚心坦懐な意見交換をし、対外関係分野において両国の党と政府が堅持している自主的な政策的立場について通報した。

また、国際及び地域問題で戦略的協力を強め、共通の利益を守ることに言及した。

会談は友好的な雰囲気の中で行われた。

同日夕、習近平主席は金正恩総書記のために宴会を催した。

金正恩総書記は中華人民共和国の訪問日程を終えて9月4日夕、専用列車で北京を出発した。

金正恩総書記の中華人民共和国訪問は、両党・両国間の政治的信頼と戦略的協力を強化し、社会主義偉業の勝利を目指す共同闘争で結ばれ、あらゆる試練と挑戦を乗り越えた朝中友好関係の不変さと不抜さを示した歴史的な契機となった。

朝鮮労働党中央委員会政治局委員である朝鮮民主主義人民共和国の崔善姫外相は9月28日、北京の釣魚台国賓館で、中国共産党中央委員会政治局委員である中華人民共和国の王毅外交部長と会談した。

金正恩総書記は10月9日、中華人民共和国党及び政府代表団を率いて朝鮮を公式友好訪問した中国共産党中央委員会政治局常務委員会委員である中華人民共和国国務院の李強総理に会い、友好的な談話を交わした。

朝鮮労働党創立80周年に際して訪朝した中国芸能人の記念公演が9日、東平壌大劇場で行われた。

中国芸能人の記念公演は、朝中両国人民間の友好の情と絆を一層深める契機となった。

平壌は親善使節を歓迎する

朝鮮労働党創立80周年に際して朝鮮を祝賀訪問したラオス人民革命党中央委員会書記長であるラオス人民民主共和国のトンルン・シスリット主席を歓迎する儀式が10月7日に行われた。

金正恩総書記はトンルン・シスリット主席と対面し、両国の国旗を背景に記念写真を撮った。

ラオス人民民主共和国国歌と朝鮮民主主義人民共和国国歌が奏楽される中、21発の礼砲が発射された。

トンルン・シスリット主席は金正恩総書記に案内されて朝鮮人民軍儀仗隊を査閲した。

歓迎儀式が終わると、ラオス人民に対する朝鮮人民の友愛の情の溢れる「歓迎！」「親善！」の歓呼の声が上がった。

トンルン・シスリット主席は14年ぶりに平壌を訪れた所感を披瀝しながら、朝鮮労働党と政府、人民の真心こもる歓待に心からの謝意を表した。

ついで、金正恩総書記とトンルン・シスリット主席の会談が行われた。

金正恩総書記はトンルン・シスリット主席の平壌訪問を熱烈に歓迎し、彼の今回の訪問はわが党と人民の偉業に対するラオスの党と政府、人民の全面的な支持と鼓舞の表れであると述べた。

そして、わが党と政府と人民はラオスの党と人民の闘争でさらなる成果が収められることを期待していると述べた。

トンルン・シスリット主席は、創立80周年を意義深く迎える朝鮮労働党と共和国政府、人民に送るラオス人民革命党と政府、人民の熱烈な祝賀と同志的な挨拶を伝えながら、ラオスは常に兄弟的朝鮮人民の親しい友人であり、両党・両国間の親善・協力関係を引き続き発展させるのはラオス国家指導部の一貫した立場であると述べた。

会談では、両党・両国における党及び国家建設の状況と経験が通報され、朝鮮民主主義人民共和国とラオス人民民主共和国間の相互協力を強化するための諸問題が討議された。

会談では、朝鮮とラオスの両党・両国間の伝統的な親善・協力関係が両国人民の志向と念願に即してさらに発展するものとの期待と確信が表明された。

会談は和気藹々とした親善的な雰囲気の中で行われた。

同日夕、金正恩総書記はトンルン・シスリット主席の平壌訪問を歓迎して宴会を催した。

宴会では金正恩総書記とトンルン・シスリット主席が演説を行った。

金正恩総書記は、トンルン・シスリット主席が健康な体で党と国家を

指導するための重要な活動で大きな成果を収めることを願いながら別れの挨拶を交わした。

10月9日、朝鮮労働党創立80周年記念行事に参加するために朝鮮を国家訪問したベトナム共産党中央委員会のトー・ラム書記長を歓迎する儀式が行われた。

金正恩総書記はトー・ラム書記長と対面し、両国の国旗を背景に記念写真を撮った。

ベトナム社会主義共和国国歌と朝鮮民主主義人民共和国国歌が奏楽される中、21発の礼砲が発射された。

トー・ラム書記長は金正恩総書記に案内されて朝鮮人民軍儀仗隊を査閲した。

金正恩総書記は、わが党と人民が大慶事を迎える意義深い時期に平壌でトー・ラム書記長に会えた喜びを披瀝した。

トー・ラム書記長は、金正恩総書記と朝鮮の党と人民が同志的友愛の情を抱いて歓待してくれたことに感謝を表した。

金正恩総書記は10月9日、トー・ラム書記長と会談した。

会談では、朝鮮とベトナムにおける社会主義建設偉業を積極的に推進し、長い歴史を持っている両党・両国人民の協力関係を時代の要請に合わせて拡大するための諸問題と互いに関心を寄せる問題について虚心坦懐な意見交換が行われた。

両党の指導者たちは会談の結果に大きな満足を表した。

金正恩総書記はこの日、トー・ラム書記長の朝鮮訪問を歓迎して宴会を催した。

宴会は終始、同志的で親善的な雰囲気の中で行われた。

朝鮮労働党創立80周年記念行事に参加するために、ニカラグア・サンディーノ民族解放戦線及び政府代表団、メキシコ労働党代表団、赤道ギニア民主党代表団、ブラジル共産党と労働党代表団、世界民主主義青年連盟委員長、国際民主婦人連盟委員長一行、世界労働組合連盟代表、ベネズエラ統一社会主義党代表団、社会主義政党「正義のロシア・愛国者・真理のために」代表団、ロシア自由民主党代表団、ロシア共産党代表団をはじめとする多くの代表団や代表が平壌を訪れた。

変革の年2025

執　筆　金忠日

編　集　卓成日

翻　訳　金正蓮

発　行　朝鮮民主主義人民共和国
　　　　外国文出版社

発行日　2026年7月

ㄱ-260880534623

E-mail: flph@star-co.net.kp

http://www.korean-books.com.kp

ISBN 978-9946-0-2758-6
9 789946 027586